

「平成 25 年度 伊勢湾流域圏一斉モニタリング」
確定版



平成 26 年 2 月

伊勢湾再生推進会議

目次

1. はじめに	1
2. 「平成 25 年度 伊勢湾流域圏一斉モニタリング」概要.....	2
2.1 モニタリング期間	2
2.2 モニタリングの種類.....	2
2.3 モニタリング参加者.....	2
2.4 水質調査地点	4
2.5 モニタリング実施時の気象・海象状況.....	5
3. モニタリング調査結果	8
3.1 分析による水質調査.....	8
3.2 簡易水質テスト結果.....	17
3.3 調査状況写真	23
3.4 ゴミ調査結果	65
3.5 水生生物調査結果	68
4. 感想等	82

1. はじめに

本年度も多くの方々に「伊勢湾流域圏一斉モニタリング」にご協力頂きまして、ありがとうございました。

伊勢湾再生推進会議では、「人と森・川・海の連携により健全で活力のある伊勢湾を再生し、次世代に継承する」ことをスローガンとした伊勢湾再生行動計画に基づき、伊勢湾再生に取り組んでいます。

伊勢湾流域圏においては、より良い水環境のもと、多様な生物が生息・生育できる“健全な伊勢湾”、産業物流拠点としての優れた機能を活かしながら、人々が集まり、安全で憩いや安らぎを感じられる“活力ある伊勢湾”を再生するため、沿岸域だけでなく、広く流域圏の“人と森・川・海”が連携して伊勢湾再生に取り組んでいくとともに、これらの取り組みを継承していくことが大切だと考えています。

この度は、その一環として、皆様と、流域圏の自治体などが、海の水質が悪くなりやすい夏の時期に一斉にモニタリングを行いました。一斉モニタリングにより、伊勢湾流域圏全体の水環境を知ることができます。

この「伊勢湾流域圏一斉モニタリング」を通じて、市民の皆様が、伊勢湾再生にもっと関心を持っていただき、伊勢湾の再生のさらなる推進につなげてまいりたいと思います。



図 1 伊勢湾流域圏

注) 伊勢湾流域圏とは、伊勢湾と伊勢湾に流れ込む河川の集水域となっている地域のことです。
(上の図の水色および緑色で示した部分)

伊勢湾再生推進会議

・伊勢湾再生推進会議構成団体

国土交通省・海上保安庁・内閣府内閣官房地域活性化統合事務局

農林水産省・林野庁・水産庁・経済産業省・環境省・岐阜県

愛知県・三重県・名古屋市・名古屋港管理組合・四日市港管理組合

2. 「平成 25 年度 伊勢湾流域圏一斉モニタリング」概要

2.1 モニタリング期間

平成 25 年 7 月 3 日（水）～8 月 28 日（金）

※一部の水生生物調査は 6 月に実施しています。

2.2 モニタリングの種類

一斉モニタリングでは、主に自治体が参加した「分析による水質調査」、主に市民の方々が参加した「簡易水質テスト」、「ゴミ調査」、「生物調査」を実施しました。

- ① 分析による水質調査（調査結果 p.8～15）
- ② 簡易水質テスト（調査結果 p.17～45）
- ③ ゴミ調査（調査結果 p.65～47）
- ④ 水生生物調査（調査結果 p.68～50）

2.3 モニタリング参加者

平成 25 年度も伊勢湾再生に関心をお持ちの多くの団体・機関から参加いただきました。

表 1 参加団体数の推移

	分析による 水質調査	簡易水質テスト、 ゴミ調査、生物調査
平成 25 年度	29	83
平成 24 年度	46	59
平成 23 年度	42	49
平成 22 年度	51	67
平成 21 年度	35	60

◆ 分析による水質調査

【行政機関】

愛知県(豊橋市)、愛知県(名古屋市)、愛知県環境部、岐阜県(大垣市)、岐阜県(各務原市)、岐阜県(川辺町)、岐阜県(関市)、岐阜県(多治見市)、岐阜県(東白川村)、岐阜県(美濃加茂市)、岐阜県環境生活部、三重県(大台町)、三重県(志摩市)、三重県(津市)、三重県、三重県(四日市港管理組合)、木曾川上流河川事務所(横山ダム管理支所含む)、木曾川下流河川事務所、庄内川河川事務所(小里川ダム管理支所含む)、豊橋河川事務所、設楽ダム工事事務所、蓮ダム管理所、丸山ダム管理所、三重河川国道事務所、矢作ダム管理所、第四管区海上保安本部(海洋情報部)、名古屋港湾事務所(平成 26 年 2 月 10 日現在)

◆ 簡易水質テスト、ゴミ調査、生物調査

【行政機関】

第四管区海上保安本部(名古屋海上保安部、鳥羽海上保安部、四日市海上保安部、三河海上保安署、衣浦海上保安署、中部空港海上保安航空基地・巡視艇いせゆき)、中部地方整備局(海洋環境・技術課、港湾管理課、名古屋港湾事務所、三河港湾事務所、

三重河川国道事務所、木曾川下流河川事務所)、津市、郡上市、豊橋市、各務原市、関市、北方町、東白川村、宮川流域ルネッサンス協議会

【市民団体・NPO 法人・個人】

あいちの海グリーンマップ、きれいな伊勢志摩づくり連絡協議会、根本愛郷会、NPO 法人阿漕浦友の会、生田川マモロード会、伊勢湾流域圏再生ネットワーク事務局、内山川ホテルを守る会、NPO エコネットあじょう、尾石様（個人）、扇川を愛する緑の会、スナメリの海、小野様（個人）、小里川ダム里山教室、かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議、香流川をきれいにする会、可児市めだかの楽校、NPO 法人すずかのおどろグループ（亀山の自然環境を愛する会）、環境ネット四つ葉会、木曾三川ごみの会、雲出川愛護モニター、ぐるーぷ「かすみ草」、港栄第一エコクラブ、高年エンバイロ 21、佐奈川を美しくする会、十四川を守る会、白塚の浜を愛する会、白鳥庭園、鈴鹿市立鼓ヶ浦公民館おじさんセミナー、高木様（個人）、高松干潟を守ろう会、地球クラブ、特定非営利活動法人神社みなとまち再生グループ、豊川流域圏を学ぶグループ・みなと塾、祓川環境美化推進協議会、引山学区連絡協議会、NPO 法人藤前干潟を守る会、別所団地西鹿乗川美化クラブ、まいバンク協議会（梅田川フォーラム）、庄内川に黒松並木づくり隊、瑞穂鯉城クラブ、みどりのまちづくりグループ、むらおこし・かみみいと、むらおこし・さいくう祓川、明治用土地改良区、安田様（個人）、矢田・庄内川をきれいにする会、やなぎも会、レッ津！夢みなとプラン推進協議会、渡し場かもめ会、緑の会羽津

【企業】

イビデンクリーンテック株式会社養老公園事務所、小塩通信株式会社、神野建設株式会社、東洋建設株式会社名古屋支店、名古屋みなと建設工事安全連絡協議会、フェザー安全剃刀株式会社関工場、富士ゼロックスマニュファクチャリング株式会社鈴鹿事業所自然愛好会

【学校】

伊勢市立五十鈴中学校、桑名市立光陵中学校、多気町立勢和中学校、四日市市立山手中学校

2.4 水質調査地点

現在報告いただいているモニタリング調査地点数は、昨年度よりも少ない地点数です。
(平成 26 年 2 月 10 日現在)

表 2 一斉モニタリング地点数の推移

	分析による水質調査			簡易水質調査		
	陸域	海域	計	陸域	海域	計
平成 25 年度	328	125	453	159	33	192
平成 24 年度	450	223	673	357	32	389
平成 23 年度	483	109	592	119	34	153
平成 22 年度	569	234	803	189	39	228
平成 21 年度	264	69	333	78	28	106

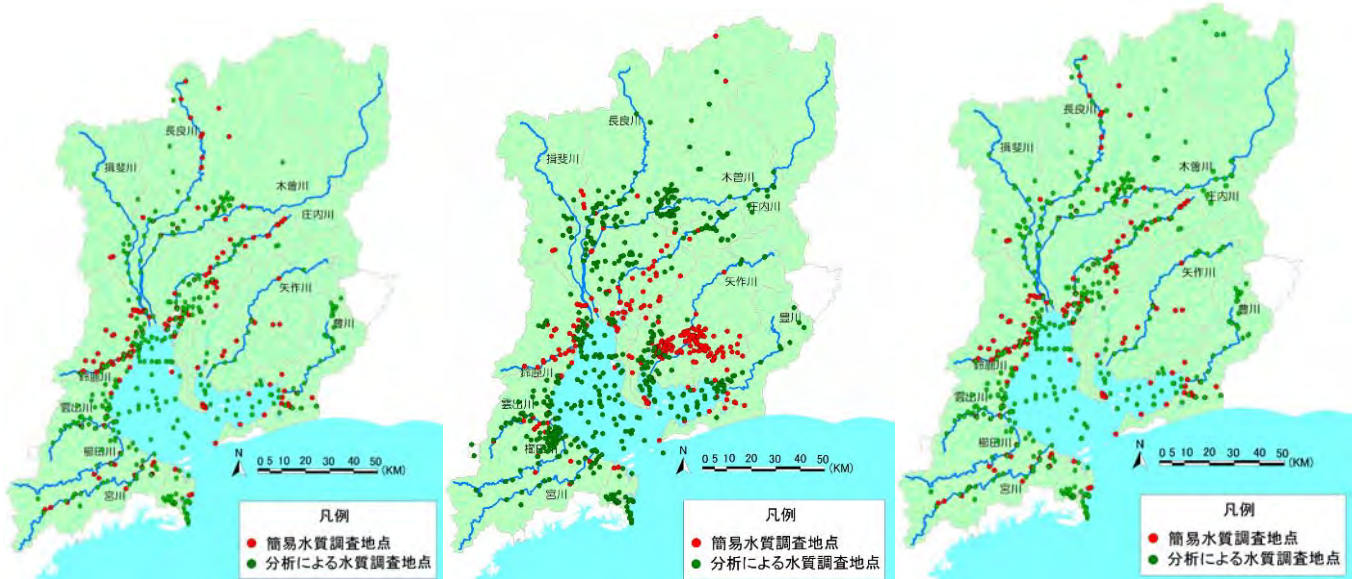


図 2 平成 25 年度一斉モニタリング地点 図 3 平成 24 年度一斉モニタリング地点 図 4 平成 23 年度一斉モニタリング地点

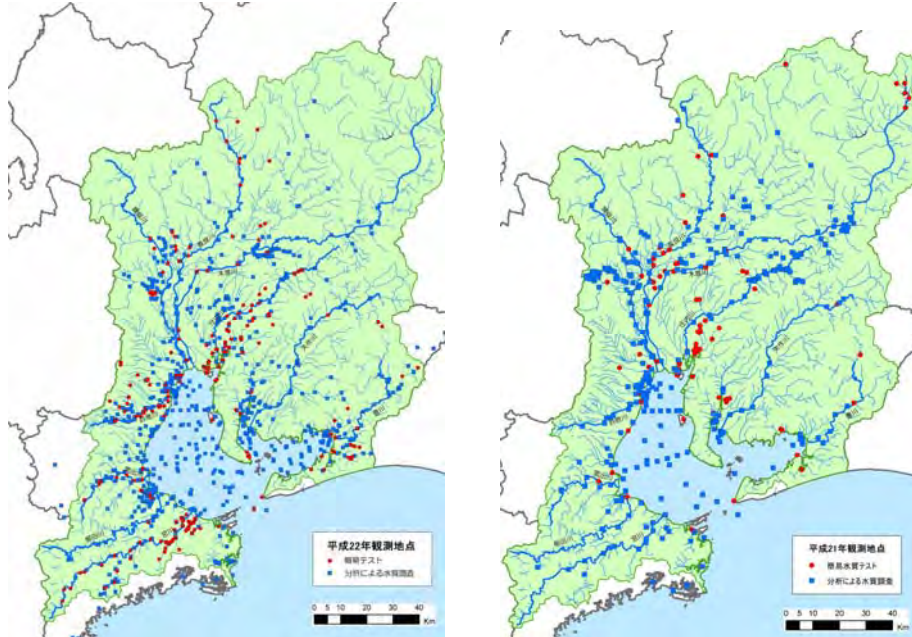


図 5 平成 22 年度一斉モニタリング地点

図 6 平成 21 年度一斉モニタリング地点

※海域では、同じ場所で水深を変えて測っているところもあります。

2.5 モニタリング実施時の気象・海象状況

一斉モニタリング期間（7/3～8/28）及び前後の気象状況及び潮位を図 7、図 8に示しました。7月下旬から8月上旬は、まとまった降雨があり、8月中旬は降雨がありませんでした。気温は 22.3～33.1℃、風速は 1.4～5.1m/s の範囲でした。

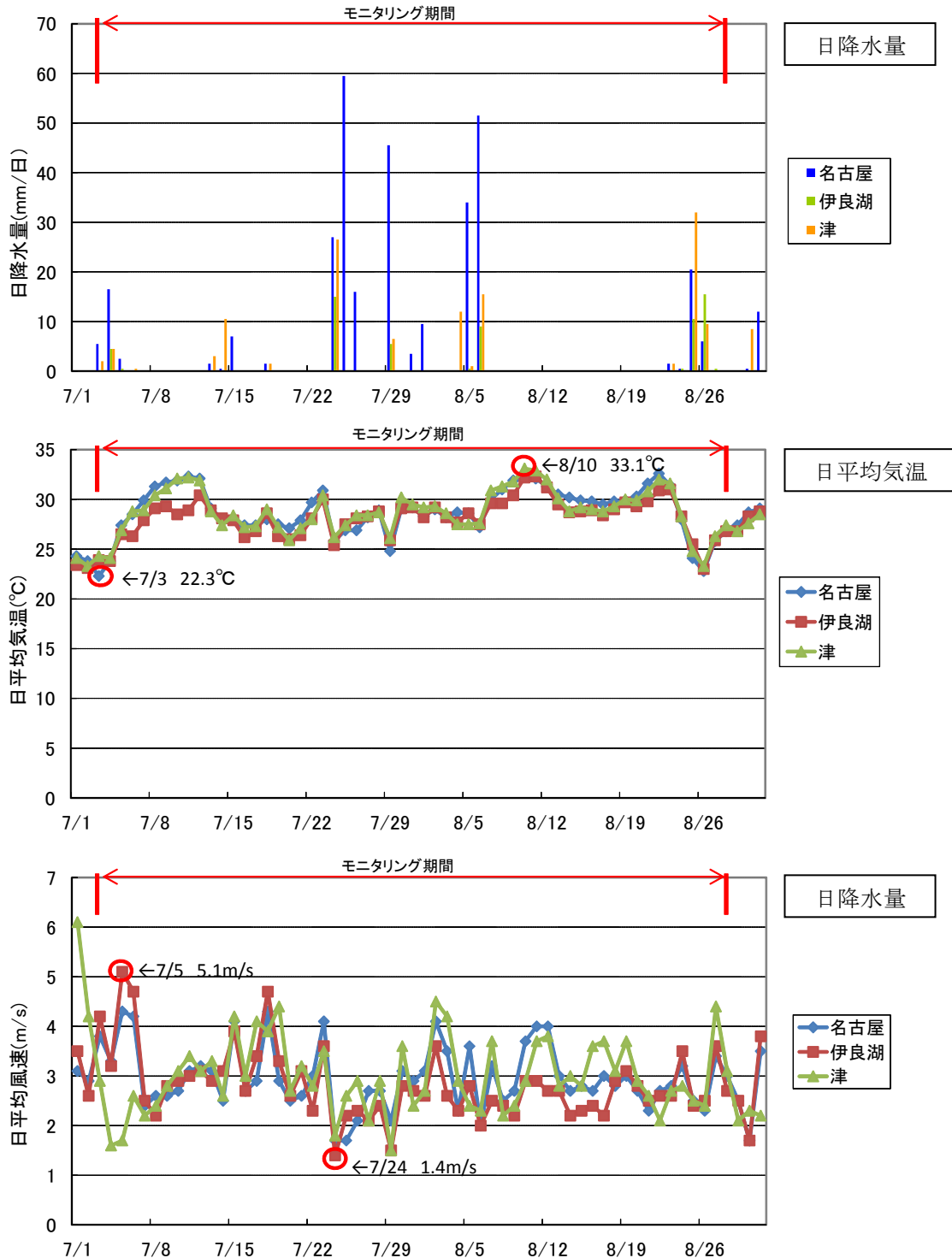


図 7 一斉モニタリング時の気象・海象状況①(降水量・気温・平均風速)

7月下旬から8月上旬にかけて、まとまった降雨があり、日照時間が短い日がありました
が、その他は、晴天が続いていたと考えられます。

一斉モニタリング期間中の名古屋港の最低潮位は、7/23の12時に72cm、最高潮位は、
8/20の18時に325cmでした。

気象観測位置、潮位観測位置を図9に示しました。

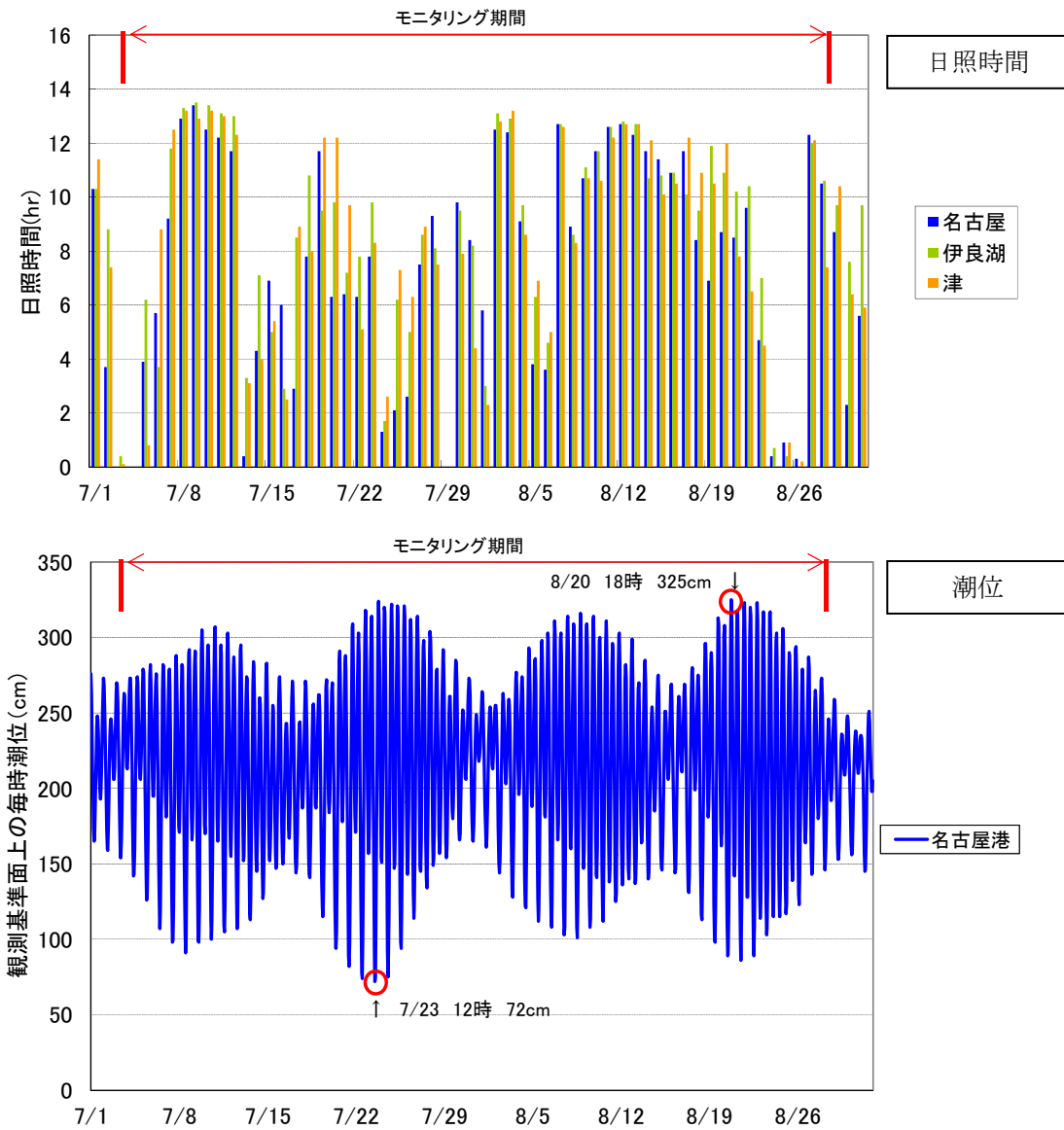


図8 一斉モニタリング時の気象・海象状況②(日照時間・潮位)



図 9 気象・海象観測位置(赤色の地点と地名は気象観測位置、緑色の地点と地名は潮位観測位置)

3. モニタリング調査結果

3.1 分析による水質調査

分析による水質調査では様々な水質項目を調査していますが、一斉モニタリング結果では次の8項目を示します。

- ① BOD（生物的酸素要求量）
- ② COD（化学的酸素要求量）
- ③ pH
- ④ 全窒素
- ⑤ 全リン
- ⑥ DO（溶存酸素）
- ⑦ SS（浮遊物質）
- ⑧ 大腸菌群数

<水質指標が示すもの>

① BOD	河川水の有機物による水の汚れを示します。汚れるにつれて値が大きくなります。
② COD	湖沼や海域の有機物による水の汚れを示します。汚れるにつれて値が大きくなります。
③ pH	酸性・アルカリ性の程度を示します。pH7が中性、pHが7より小さければ酸性、大きければアルカリ性です。
③ 全窒素	水中の窒素の量を示します。窒素はリンと並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれる窒素が海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。
④ 全リン	水中のリンの量を示します。リンは窒素と並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれるリンが海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。
⑥ DO（溶存酸素）	水中に溶解している酸素量を示し、量が多いほど値が大きくなります。溶存酸素は、水中の生物の呼吸などに使われるので、欠乏すると魚介類のへい死や水の腐敗が起こります。
⑦ SS（浮遊物質）	水中を漂う濁りの原因となる物質の量を示します。汚れるにつれて値が大きくなります。
⑧ 大腸菌群数	大腸菌や大腸菌と性質が似ている細菌の数を示します。水中の大腸菌群数はし尿による汚染の指標として使われています。

BOD(生物化学的酸素要求量)

河川水の有機物による水の汚れを示します。
汚れるにつれて値が大きくなります。



図 10 BOD(分析による水質調査結果)

各河川とも上流のほうは 2mg/L 以下となっており有機物による汚れは少ないですが、庄内川等の市街地を流れる河川で観測値が高くなっており、有機物による汚れが大きくなっています。また、一級河川(太い青線)以外の観測点(中小河川や支川)においても、観測値が高いところが見られます。

COD (化学的酸素要求量)

湖沼や海域の有機物による水の汚れを示します。汚れるにつれて値が大きくなります。



図 11 COD(分析による水質調査結果)

BOD と同様、市街地等では値が大きくなっており、有機物による汚れが大きいことがわかります。海に出た後は希釈や自浄効果などで値は小さくなりますが、三河湾の奥部では 5mg/L 以上の高い値を観測しており、有機物量が高いままとなっています。

pH

酸性・アルカリ性の程度を示します。
pH7 が中性、pH が7より小さければ酸性、大きければアルカリ性です。

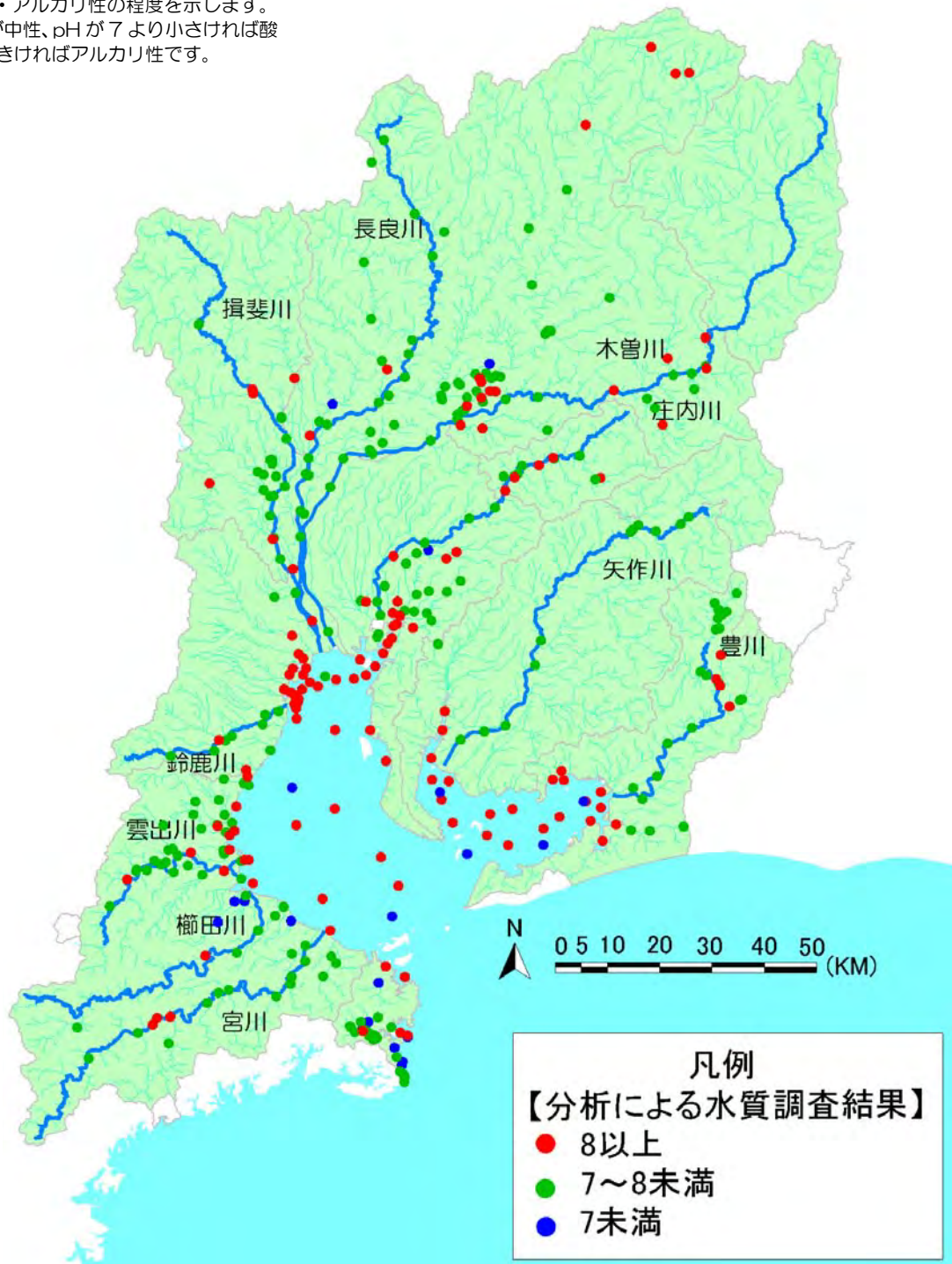


図 12 pH(分析による水質調査結果)

河川の pH は一般的に pH7 付近の中性で、河川の観測値の多くが pH7 付近となっています。河川の一部の地点では pH8 以上のアルカリ性を示していますが、地質などの自然の特性によって高くなることがあります。一方、海の pH は一般的に pH8 前後のアルカリ性を示すため、海の観測値は pH8 以上となっています。

全窒素

水中の窒素の量を示します。窒素はリンと並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれる窒素が海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。



図 13 全窒素(分析による水質調査結果)

多くの河川の中下流部で 0.6 mg/L 以上の高い値が見られます。値が高くなっている地点は、生活排水、田畑の肥料等による影響が考えられます。河川の河口部や海では低くなっていますが、湾奥でやや高い傾向にあります。

全リン

水中のリンの量を示します。リンは窒素と並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれるリンが海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。



図 14 全リン(分析による水質調査結果)

全窒素と同様に、多くの河川の中下流部で 0.05 mg/L 以上の高い値が見られます。値が高くなっている地点は、生活排水、田畑の肥料等による影響が考えられます。海では低くなっていますが、湾奥でやや高い傾向にあります。

DO（溶存酸素）

水中に溶解している酸素量を示し、量が多いほど値が大きくなります。溶存酸素は、水中の生物の呼吸などに使われるので、欠乏すると魚介類のへい死や水の腐敗が起こります。

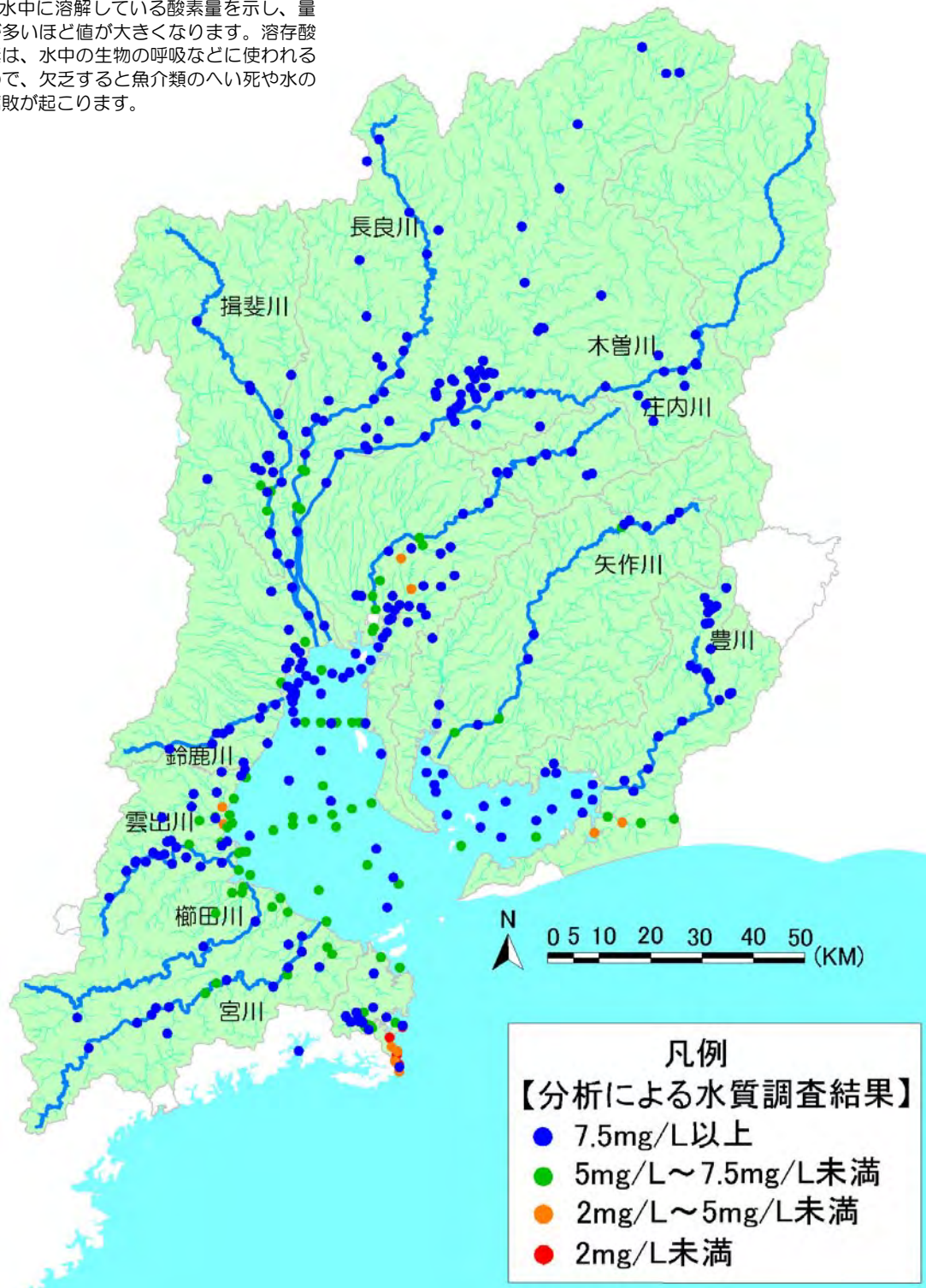


図 15 DO(分析による水質調査結果)

一級河川（太い青線）では比較的 DO（溶存酸素）は多いですが、DO(溶存酸素)が少ない箇所も見られ、酸素不足による水中の生物への影響や水の腐敗（におい）などが懸念されます。

（※海域は海面付近の値を示しています。海域の水深方向の DO 分布については、「伊勢湾の溶存酸素濃度状況（参考）」にてご確認ください。）

SS（浮遊物質）

水中を漂う濁りの原因となる物質の量を示します。汚れるにつれて値が大きくなります。



図 16 SS(分析による水質調査結果)

多くの観測地点は、25mg/L以下となっており、河川の環境基準A類型に適合する水質であるため、SS(浮遊物質)による水の濁りは少ないといえます。

大腸菌群数

大腸菌や大腸菌と性質が似ている細菌の数を示します。水中の大腸菌群数はし尿による汚染の指標として使われています。



図 17 大腸菌群数(分析による水質調査結果)

1000MPN/100ml 以上の値を観測している地点が見られます。大腸菌群数は、し尿等による人為的由来によるものの他に、自然の土壌由来のものが含まれる場合もあるため、継続した監視が必要と考えられます。

3.2 簡易水質テスト結果

参加者の方々には、様々な項目で調査していただきました。

<p><モニタリング調査項目></p> <p>水温、COD（化学的酸素要求量）、$\text{NH}_4^+\text{-N}$（アンモニウム態窒素）、$\text{NO}_2^-\text{-N}$（亜硝酸態窒素）、$\text{NO}_3^-\text{-N}$（硝酸態窒素）、$\text{PO}_4^{3-}\text{-P}$（リン酸態リン）、天気、モニタリング地点の状況（ゴミの状況等）、生き物、水において、水の色、水量（量、速さ）</p>
--

その中で、調査地点数が多く、伊勢湾流域圏の水質の汚染状況を示す、COD（化学的酸素要求量）、 $\text{NH}_4^+\text{-N}$ （アンモニウム態窒素）、 $\text{NO}_2^-\text{-N}$ （亜硝酸態窒素）、の $\text{NO}_3^-\text{-N}$ （硝酸態窒素）、 $\text{PO}_4^{3-}\text{-P}$ （リン酸態リン）の結果を図 18～図 22に示しました。

<水質指標が示すもの>

① COD	湖沼や海域の有機物による水の汚れを示します。汚れるにつれて値が大きくなります。
② $\text{NH}_4^+\text{-N}$	窒素はリンと並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれる窒素が海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。 $\text{NH}_4^+\text{-N}$ は、窒素の主な形態の一つです。濃度が高い場合、生活排水や工場排水あるいは田畑から肥料分が流れていると考えられます。
③ $\text{NO}_2^-\text{-N}$	$\text{NO}_2^-\text{-N}$ は、窒素の主な形態の一つです。不安定な物質ですが、pH等の状況や窒素肥料の施肥量が多いと濃度が高くなる場合があります。
④ $\text{NO}_3^-\text{-N}$	$\text{NO}_3^-\text{-N}$ は、窒素の主な形態の一つです。きれいな水は $\text{NO}_3^-\text{-N}$ の割合が高く、汚れた水は $\text{NH}_4^+\text{-N}$ の割合が高くなります。ただし、 $\text{NO}_3^-\text{-N}$ が多量に存在すると人の健康に影響を与えるため、水道水の水質基準では、 $\text{NO}_2^-\text{-N}$ と $\text{NO}_3^-\text{-N}$ の合計が10mg/L以下と設定されています。
⑤ $\text{PO}_4^{3-}\text{-P}$	$\text{PO}_4^{3-}\text{-P}$ は、リンの主な形態の一つです。植物の生育に必要な要素であり、生物の死骸により供給されますが、生活排水、肥料にも多く含まれ、海水や湖沼水中に $\text{PO}_4^{3-}\text{-P}$ が増加すると、赤潮などの汚濁原因となります。

COD（化学的酸素要求量）

湖沼や海域の有機物による水の汚れを示します。
汚れるにつれて値が大きくなります。



図 18 COD(簡易水質テスト結果)

庄内川等の市街地を流れる河川で観測値が高くなっており、有機物による汚れが大きくなっています。また、一級河川（太い青線）以外の観測点（中小河川や支川）においても、観測値が高いところが見られます。これは、水の量が少ないところへ生活排水が流入しているため濃度が高くなると考えられます。

NH₄⁺-N (アンモニウム態窒素)

窒素はリンと並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれる窒素が海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。NH₄⁺-Nは、窒素の主な形態の一つです。濃度が高い場合、生活排水や工場排水あるいは田畑から肥料分が流れていると考えられます。



図 19 NH₄⁺-N(簡易水質テスト結果)

庄内川等の市街地を流れる河川で高い値を示しています。0.5mg/L以上になると、生物の生息環境としては良好とはいえないとされています。

NO₂⁻-N (亜硝酸態窒素)

NO₂⁻-Nは、窒素の主な形態の一つです。不安定な物質ですが、pH等の状況や窒素肥料の施肥量が多いと濃度が高くなる場合があります。



図 20 NO₂⁻-N(簡易水質テスト結果)

庄内川等の市街地を流れる河川では、0.007～0.05mg/L や 0.05mg/L 以上の値を示している場所があります。

NO₃⁻-N (硝酸態窒素)

NO₃⁻-N は、窒素の主な形態の一つです。きれいな水は NO₃⁻-N の割合が高く、汚れた水は NH₄⁺-N の割合が高くなります。ただし、NO₃⁻-N が多量に存在すると人の健康に影響を与えるため、水道水の水質基準では、NO₂⁻-N と NO₃⁻-N の合計が 10mg/L 以下と設定されています。



図 21 NO₃⁻-N(簡易水質テスト結果)

所々で 1.2mg/L 以上の高い値が観測されており、生活排水の影響や、畜産や化学肥料の影響が考えられます。伊勢湾に流出すると富栄養化（藻類の異常発生）の原因の一つになるので、今後も確認していく必要があります。

PO₄³⁻-P (リン酸態リン)

PO₄³⁻-P は、リンの主な形態の一つです。植物の生育に必要な要素であり、生物の死骸により供給されますが、生活排水、肥料にも多く含まれ、海水や湖沼水中に PO₄³⁻-P が増加すると、赤潮などの汚濁原因となります。



図 22 PO₄³⁻-P(簡易水質テスト結果)

所々で 0.11mg/L 以上の高い値が観測されており、生活排水の影響や田畑からの肥料の影響が考えられます。伊勢湾に流出すると富栄養化（藻類の異常発生）の原因の一つになるので、今後も確認していく必要があります。

3.3 調査状況写真

【団体名：木曾川下流河川事務所】

調査日：平成 25 年 8 月 13、14 日



IMG_0468
2013/08/13 11:07:01
長良川伊勢大橋 定期採水（2割水深）



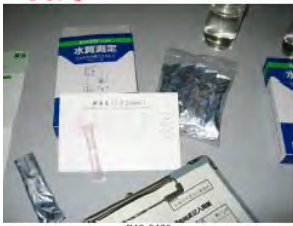
IMG_0469
2013/08/13 11:08:52



IMG_0470
2013/08/13 11:16:00
長良川伊勢大橋 定期採水（2割水深）
本日1回目採水だが2回目のピンを使用している



IMG_0475
2013/08/13 11:35:08
事務所3階にてバックテスト実施



IMG_0476
2013/08/13 11:41:59
COD 2mg/L



IMG_0477
2013/08/13 11:48:43
アンモニウム態窒素 0.2mg/L



IMG_0483
2013/08/14 16:07:23



IMG_0484
2013/08/14 16:13:28



IMG_0485
2013/08/14 16:24:16



IMG_0486
2013/08/14 16:25:00

【団体名：豊川流域圏を学ぶグループ・みなと塾】

調査日：平成 25 年 7 月 24 日

調査地点 豊川右岸 下地
調査地点周辺の状況写真



「平成 25 年度 伊勢湾流域圏一斉モニタリング」



調査場所地図
調査日 7 月 24 日



シジミやカニがいた。
堤防沿いは、泥化していた。

ごみの状況写真



ペットボトル、発泡スチロールが散見する。

調査地点 豊川河口 前芝西浜
調査地点周辺の状況写真



調査の実施風景の写真



傘をさしての採水



大木の下で簡易テストを行いました。



河口の干固に硫化水素がたまり、約5cm 下は
黒色。
カニがいる。
カキもいる。
アサリなど二枚貝は近くにいなかった。

ごみの状況写真



漂着ゴミは漂っていない。
ここから北方の堤防下にはいつも漂着ゴミが見られる。
今回は、7月21日に地元の方がクリーン作戦海岸清掃を実施した後なので、漂着ゴミはほとんどなかった。

調査の実施風景の写真

雨の中、傘をさしての調査となりました。



検査の色は、よく解りました。



【団体名：矢田・庄内川をきれいにする会】

調査日：：平成 25 年 7 月 27 日

バッタ、カモ類、ツバメ、トンボ、モンシロチョウ

ミシシッピーアカミミガメが対岸で甲羅干しをしている。(写真、釣り人とゴミ)



カモ4匹、アオサギ、ツバメ、スズメ、アメンボ、クマゼミ(写真、前日の雨で濁っている)



生き物

○ニヤンマ、トノサマガエル、ハグロトンボ、アメリカザリガニ、シオカラトンボ、イトトンボ、クマゼミの鳴き声

○カワモズクが残っている

○水辺の通路部分にウナギ様の死骸があった。場所からスナヤツメと思ったが、体長が32cmあり、またヤツ目がなかったため、ウナギと断定。何故、ここにウナギがとと思うが生物は珍しい。スナヤツメは体長20センチ以下である。

前日雨だったので湧水が豊富である。(写真、水は豊富、こんなところにウナギ、羽黒トンボ)

調査年月日	平成 25 年 7 月 27 日 (土)	調査時刻	午前 11 時 15 分
調査地点名	才井戸流		
調査地点の地図			
気温	天気		
	当日	前日	前々日
29℃	晴れ	晴れ時々曇り、夕立	晴れ時々曇り、夕立



【団体名：小野氏（個人）】

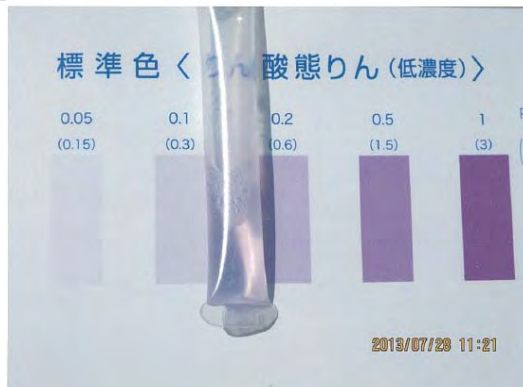
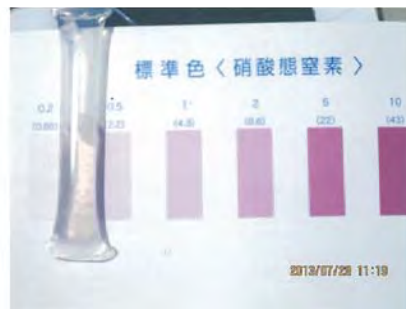
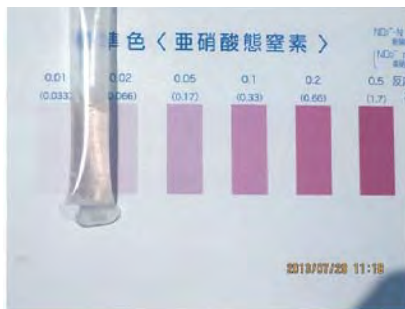
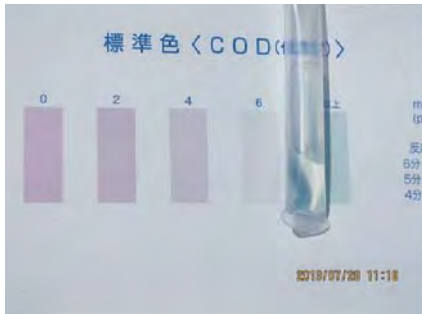
調査日：：平成 25 年 7 月 28 日



調査実施場所



メダカの写真



【団体名：別所団地西鹿乗川美化クラブ】

調査日：平成 25 年 7 月 28 日



【団体名：雲出川愛護モニター（1/3）】

調査日：平成 25 年 7 月 27 日



日付：平成 25 年 7 月 27 日(土) 9 時 50 分 名前 由利 嘉朗

当日の天気：晴れ(前日の天気：晴れ) 気温 42 度 水温 29 度
 水を取った場所：緯度 34.623 経度 136.460
 中村川一志橋付近 三重県松阪市娯野一志町 一志橋左岸 10m 下流

気付いたこと 中潮 満潮 8:46 干潮 14:55
 川幅 20 ㍍ぐらいで川岸はコンクリートで固められています。川の流れは急流で、川底は砂地で透明度は良い。魚も観察され、水を取ると透明度もよく、不純物も確認できませんでした。不法投棄・生活ごみ・油膜等もなく、水環境は概ねいいと思います。

(単位：mg/L)

COD(化学的酸素要求量)0~8	NH ₄ ⁺ (アンモニウム態窒素) 0.2~10	NO ₂ ⁻ (亜硝酸態窒素) 0.005~0.5	NO ₃ ⁻ (硝酸態窒素) 0.2~10	PO ₄ ⁻ (リン酸態リン) 0.02~1	
平成 25 年 7 月 27 日	8	0.5	0.0 2	0.5	0.2
平成 24 年 7 月 28 日	6	0.2	0.05	0.2	0.1



日付：平成 25 年 7 月 27 日 11 時 15 分 名前 由利嘉朗

当日の天気：晴れ(前日の天気：晴れ) 気温：36 度 水温：21.5 度
 水を取った場所：緯度 34.569 経度 136.521
 阪内川三郷井関 三重県松阪市阪内川親水公園右岸 五曲橋上流約 200 ㍍

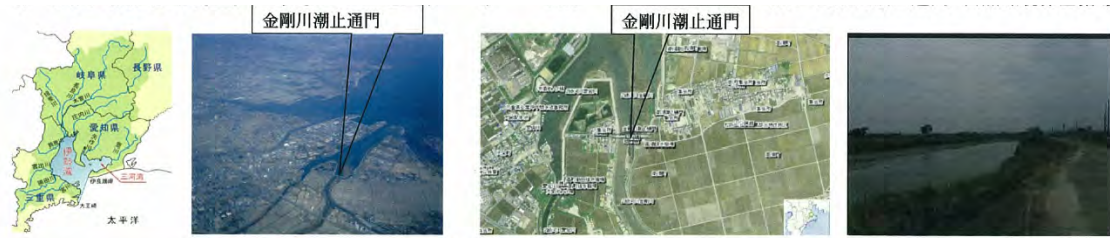
気付いたこと 中潮 満潮 8:46 干潮 14:55
 川幅 30 ㍍ぐらいで川岸はコンクリートで固められています。川の流れは緩やかで、川底は藻で覆われ、透明度も高く魚も沢山目視できます。水を取ると不純物・匂いもなく、藻が少し混ざる程度でした。
 採取場所は、住宅街に流れる河川ですが、公園整備が行き届き不法投棄・生活ごみなどが確認できず、環境整備は概ね良好だと思います。

(単位：mg/L)

COD(化学的酸素要求量)0~8	NH ₄ ⁺ (アンモニウム態窒素) 0.2~10	NO ₂ ⁻ (亜硝酸態窒素) 0.005~0.5	NH ₃ (硝酸態窒素) 0.2~10	PO ₄ ⁻ (リン酸態リン) 0.02~1	
平成 25 年 7 月 27 日	8	0.2	0.0 0.5	0.2	0.0 5
平成 24 年 7 月 28 日	7	0.2	0.02	0.2	0.05

【団体名：雲出川愛護モニター (2/3)】

調査日：平成 25 年 7 月 27 日



日付：平成 25 年 7 月 27 日(土) 12 時 30 分 名前 由利 嘉朗
 当日の天気：晴れ(前日の天気：晴れ) 気温 33 度 水温 33 度
 水を取った場所：緯度 34.589 経度 136.561
 金剛川潮止通門 三重県松阪市高須町 金剛川潮止通門下
 気付いたこと 中潮 満潮 8:46 干潮 14:55
 川幅 70 位ぐらいで、コンクリートで固められています。川の流は緩やかで透明度は悪く、土色です。河口側は黒く硫化水素の泡が確認。通門上流で水を取ると透明度も悪く、土色です。匂いは、かすかにヘドロ臭く、ウロも確認できます。潮止通門の上流部はアシが多く、シラサギ・カルガモ等が群生・捕食。下流部はハマボウの花が咲き、アシ群も多く生息していますが、ペットボトル・発泡スチロール等が多く、植物周りを埋め尽くしています。

(単位：mg/L)

COD(化学的酸素要求量)0~8	NH ₄ ⁺ (アンモニウム態窒素) 0.2~10	NO ₂ ⁻ (亜硝酸態窒素) 0.005~0.5	NH ₃ (硝酸態窒素) 0.2~10	PO ₄ ⁻ (リン酸態リン) 0.02~1
平成 25 年 7 月 27 日 8	0.2	0.1	0.5	1
平成 24 年 7 月 28 日 7	0.2	0.05	1	0.15



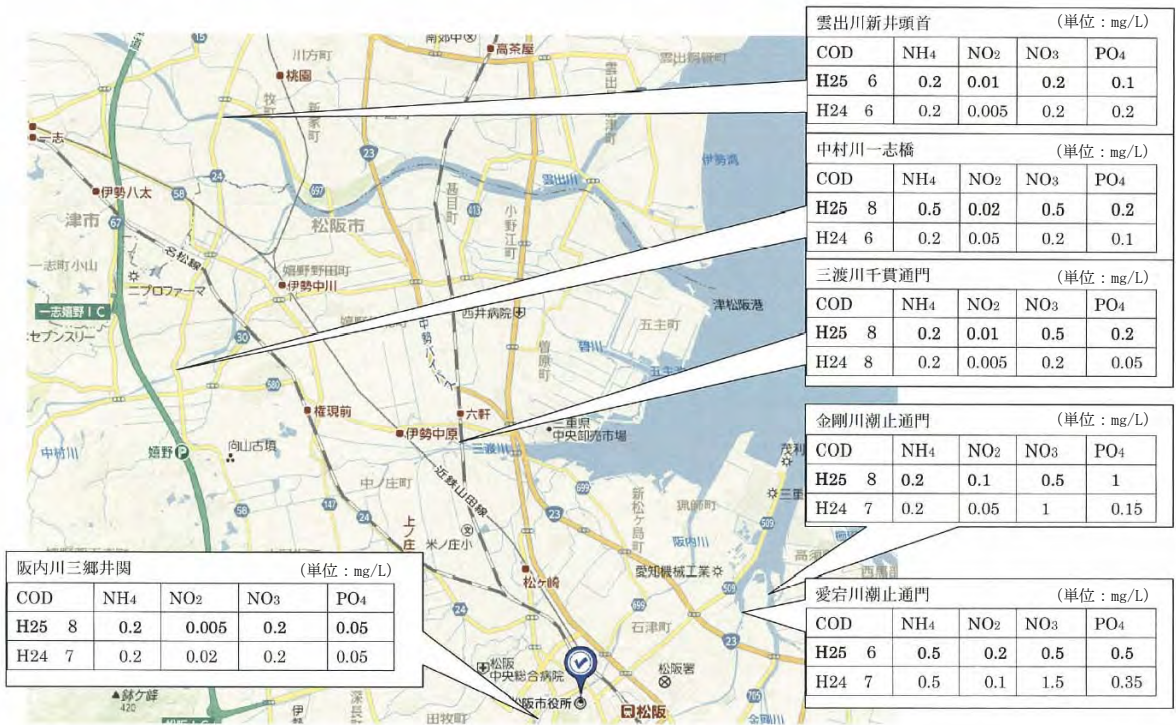
日付：平成 25 年 7 月 27 日(土) 13 時 35 分 名前 由利 嘉朗
 当日の天気：晴れ (前日の天気：晴れ) 気温 38 度 水温 33 度
 水を取った場所：緯度 34.663 経度 136.456
 雲出川雲出新井頭首 三重県津市久居小戸木町 小戸木橋 300 位上流左岸
 気付いたこと 中潮 満潮 8:46 干潮 14:55
 川幅は 200 位ぐらいで川岸はコンクリートで固められている。川の流は急流で川底は砂地です。透明度は高く魚が目視できます。水を取ると不純物・匂いもなく、飲みそうな感じです。堰の上流で水を採取しましたが、子アユが群れ、他の魚も多いようです。網を入れると川エビも多くとれそうです。周りの環境は、動植物も多く、シラサギが数羽確認できました。

(単位：mg/L)

COD(化学的酸素要求量)0~8	NH ₄ ⁺ (アンモニウム態窒素) 0.2~10	NO ₂ ⁻ (亜硝酸態窒素) 0.005~0.5	NH ₃ (硝酸態窒素) 0.2~10	PO ₄ ⁻ (リン酸態リン) 0.02~1
平成 25 年 7 月 27 日 6	0.2	0.1	0.2	0.1
平成 24 年 7 月 29 日 6	0.2	0.005	0.2	0.2

【団体名：雲出川愛護モニター (3/3)】

調査日：平成 25 年 7 月 27 日



【団体名：レッ津！夢みなとプラン推進協議会】

調査日：平成 25 年 7 月 31 日

調査場所



2013 伊勢湾流域圏モニタリング
 調査予定地点：4点 (名古屋港西部地区)




調査項目

① 調査地点海域の水質調査

- ・ CO₂, NH₄, NO₂, NO₃, PO₄ (調査セット支給)
- ・ 水温 (器具所有)
- ・ 透明度 (器具所有)

*水質調査は観測機器により以下を標準とする。
 ・ 海面下0.5m (上層)
 ・ 海面下1.0m (下層)

8/2 (金) 当日の調査場所



現地調査リーダー：山田 芳生 (高砂建設 (株))

- ・ 弥富ふ頭前～扇田堤～西3区の順で調査する。
- ・ 交通船1隻 (船名：翔洋) 請負者名：(株)おかわら
- ・ 船上調査担当
 - 1) 透明度担当
 - 2) 水温担当
 - 3) 採水担当 (2名)
 - 4) 記録担当
 - 5) 写真担当
- ・ 各地点採水後、インフォメーション室前廊下にてバックテストを実施
- ・ 記録後、まとめ及び報告は工事村部会長

調査班	人数	担当者名	請負者名
工事村部会長	1名	樹下 克明	東洋建設 (株)

タイムスケジュール

10:00～ ボンブーン集合・準備
 10:15～ ①地点 (弥富ふ頭) 調査
 10:25～ ②地点 (弥富ふ頭) 調査
 10:35～ ③地点 (高瀬扇田堤) 調査
 10:50～ ④地点 (西3区) 調査
 11:20～ バックテスト実施 (インフォメーション室前廊下)

バックテストリーダー：山田 芳生 (高砂建設)

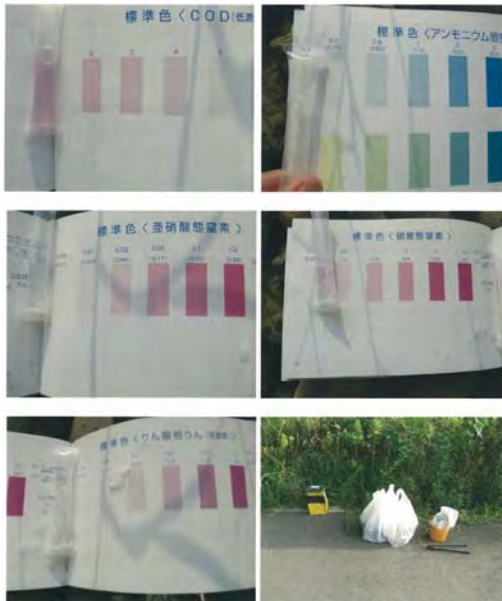
テスト班	人数	担当者名	請負者名
工事村部会	15名	別紙	別紙

モニタリング調査状況 H25.08.02

透明度調査	採水
	
試料採取(水温)	試料採取(採水)
	
バックテスト	記念撮影
	

【団体名：小塩通信（株）】

調査日：平成 25 年 8 月 4 日



【団体名：高木氏（個人）】

調査日：平成 25 年 8 月 4、5 日



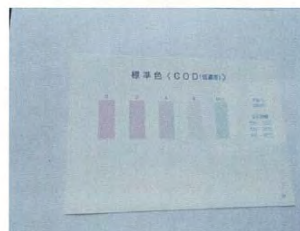
【団体名：エコネット安城 河川部会】

調査日：平成 25 年 7 月 31 日



【団体名：四日市市立 山手中学校 理科部】

調査日：平成 25 年 8 月 5 日

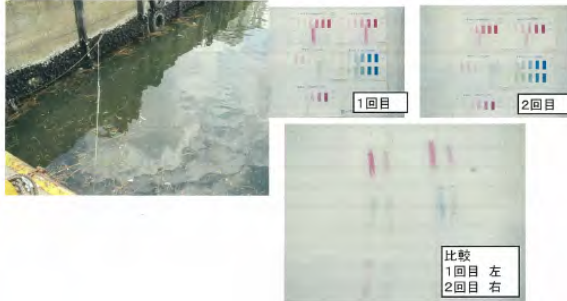


【団体名：第四管区海上保安本部】

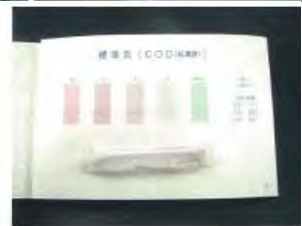
調査日：平成25年7月31日、8月6日

採取した日は、大雨の後であったことから、水がかなり濁った状態でした。
 調査は
 1回目 ガーデン心頭（堀川河口付近）
 2回目 ガーデン心船（南極観測船心し付近）
 と場所を移動して実施した。
 実施結果は、堀川河口付近の方が、水に匂いが若干強く、計測した数値も高かった。

三河港豊橋地区の海水を採水し、調査した結果、昨年度と比較してCODを含め全ての調査項目の数値が低くなっており、数値のみだけを見ると水質が改善されているものと思料される。海が透明度が低く、見た目も昨年度と大きく変わっていないことから、今後も継続して観察をしていく。

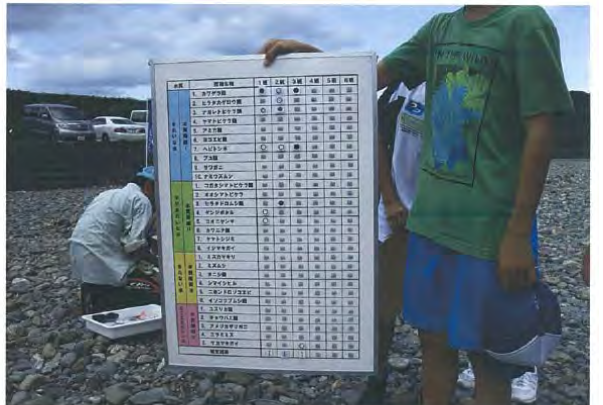
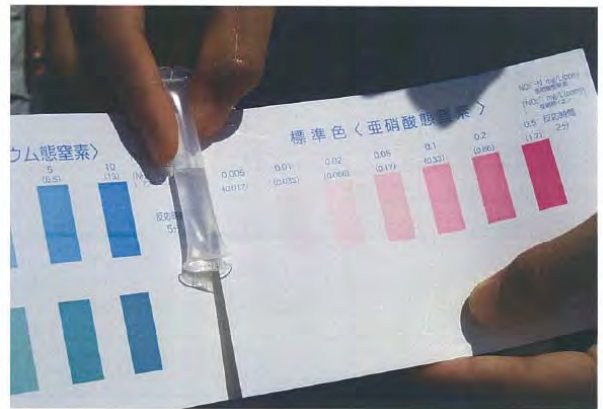
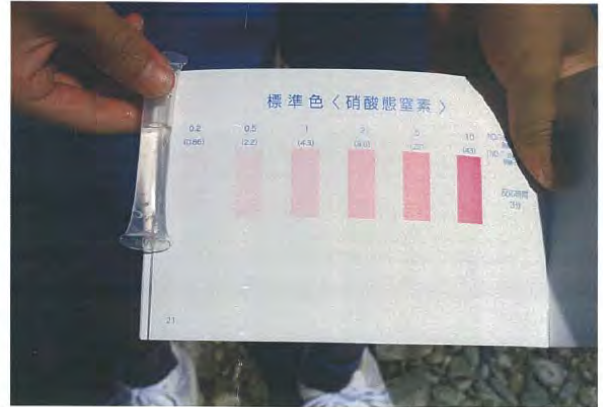


採水場所付近では小魚を多数確認することが出来た。



【団体名：五十鈴中学校】

調査日：平成 25 年 8 月 5 日



【団体名：藤前干潟を守る会】

調査日：平成 25 年 8 月 5 日

庄内川



新川



【団体名：やなぎも会】

調査日：平成 25 年 8 月 3 日

伊勢湾流域圏一斉モニタリング

調査地点：小塩橋の水質とゴミ調査（やなぎも会）
 調査年月日：平成 25、8、3（土）時刻：10:00

注：感潮域地点のため、名古屋港の干潮時間：09:50 潮位：T P：70cm
 注：採水位置は小塩橋上流側の、中央位置の欄干より、バケツによる表層水を採取。

写真-1、3、4の赤枠内は水面に流れる枯葉、藻類を示す。

小塩橋の左岸の扶（手前の青・黄緑は反射光）→

写真-1 小塩橋右岸：上流側 水位は低下傾向（水は下流側に流れる）
 右岸側の川際にゴミは無いが、枯葉、藻類が流れ、川中に迫り出した枝先には、藻の乾燥物が垂れ下がりの光景が見られる。



写真-2 小塩橋・左岸上流側 川中に伸びた枝先には、藻の付着が見える。



写真-3 小塩橋の・右岸下流方向 枯葉・藻の小片物が流れる。



写真-4 幅下橋（小塩橋のすぐ上流）下流方向を望む
 右岸側の川際に枯葉、藻類の流れが見られる。



写真-5 小塩橋・調査地点右岸側の歩道における水質調査



写真-6 水質調査 COD (D) 及びNH4 測定



写真-7 水質調査 NO2、NO3及びPO4測定



【団体名：きれいな伊勢志摩づくり連絡会議】

調査日：平成25年7月27日

水辺のごみ実態調査実施場所（鳥羽市浅利ヶ浜、畔蛸白浜）



- ・浅利ヶ浜（鳥羽市相差町819）
- ・畔蛸白浜（鳥羽市畔蛸町）- 浅利ヶ浜の少し北に位置する

	平成25年7月27日
	浅利ヶ浜
	調査の実施風景

	浅利ヶ浜
	簡易テスト比色
	COD

	浅利ヶ浜
	簡易テスト比色
	NO ₂ NO ₃ PO ₄

	平成25年7月27日
	畔蛸白浜
	B班
	調査実施状況

	平成25年7月27日
	畔蛸白浜
	B班
	簡易テスト比色
	COD

	畔蛸白浜
	B班
	調査実施状況

	畔蛸白浜
	B班
	簡易テスト比色
	NH ₄

	畔蛸白浜
	B班
	調査実施状況

	畔蛸白浜
	B班
	調査実施状況
	NO ₂

【団体名：梅田川フォーラム】

調査日：平成25年7月27日

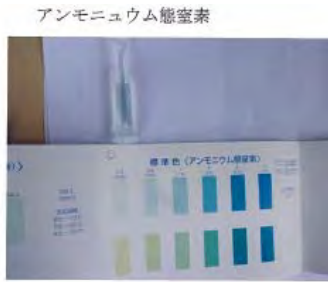


【団体名：十四川を守る会】

調査日：平成 25 年 7 月 31 日
 調査地点の状況（十四川河口・豊栄橋付近）



COD



アンモニウム態窒素



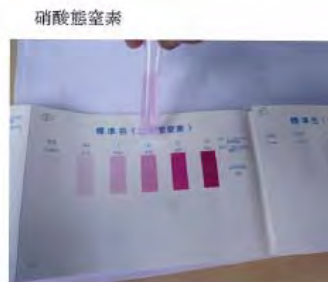
十四川河口「豊栄橋」上にて採水



水の温度計測



亜硝酸態窒素



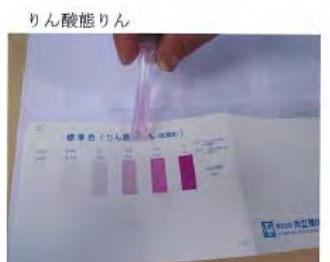
硝酸態窒素



バックテスト数値計測



豊栄橋



りん酸態りん



豊栄橋より上流（西方）を望む



豊栄橋より東方の町並み

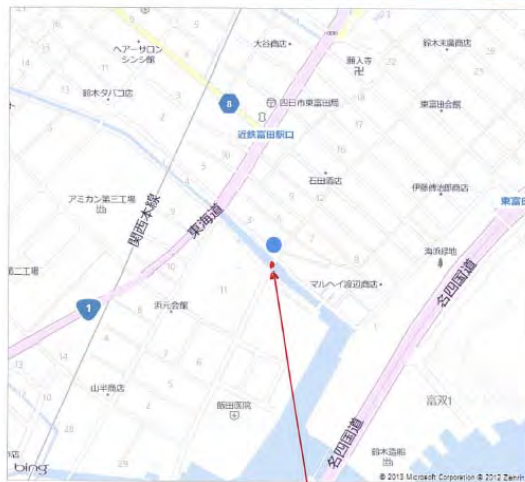
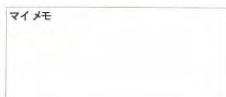


川底の状態



豊栄橋真下の状態

bing 地図
 三重県四日市市東富田町3-16



十四川河口 豊栄橋

【団体名：神野建設（株）】

調査日：平成 25 年 7 月 31 日



【団体名：東洋建設（株）名古屋支店】

調査日：平成 25 年 7 月 31 日



調査地点A
桟橋先端部より採水



採水状況



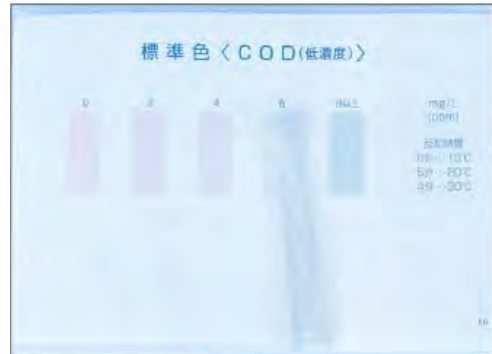
調査地点B
岸壁より採水



水質測定状況



水温測定



水質測定状況

【団体名：スナメリの海】

調査日：平成 25 年 7 月 28 日



【団体名：可児市めだかの楽校】

調査日：平成 25 年 8 月 3 日



【団体名：地球クラブ】

調査日：：平成25年7月24日

鈴鹿川河口より26km地点 (堰堤の上流)



(下流)



鈴鹿川河口より11.2km地点 (堤五郎橋の上流)



(下流)



測定者メンバー



亀山の自然環境と愛知会 3名 (1名は撮影)
地球クラブ 3名.

今回は他県から測定者約6名で活動した。

【団体名：多気町立勢和中学校】

調査日：平成 25 年 8 月 1 日



【団体名：生田川マモロード会】

調査日：平成25年7月28日

平成25年度一斉モニタリング調査写真



簡易テスト比較



水温測定状況



測定地点状況写真

【団体名：鼓ヶ浦公民館おじさんセミナー】

調査日：平成25年8月23日

平成25年度水質調査模様

伊勢湾流域圏一斉モニタリング

平成25年8月28日
鈴鹿市立鼓ヶ浦公民館
おじさんセミナー事務局
Tel:059-386-9184

調査地点略図



調査模様

調査地点でサンプルを採取しペットボトルで持ち帰り、公民館内で測定した。

堀切川



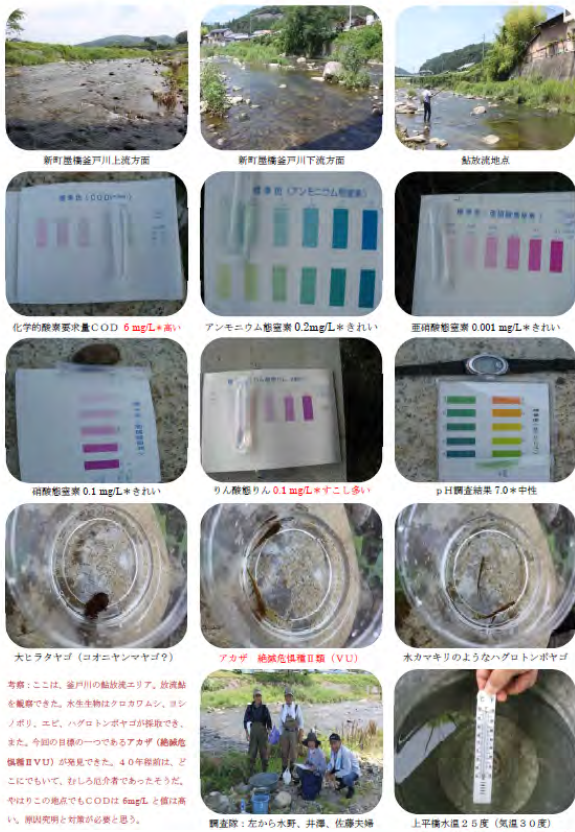
磯山川



【団体名：小里川ダム里山教室】

調査日：平成25年7月28、31日

伊勢湾流域圏一斉モニタリング調査 No.1-③新町屋橋
庄内川・土岐川・釜戸川の新月屋橋（鮎放流地点）

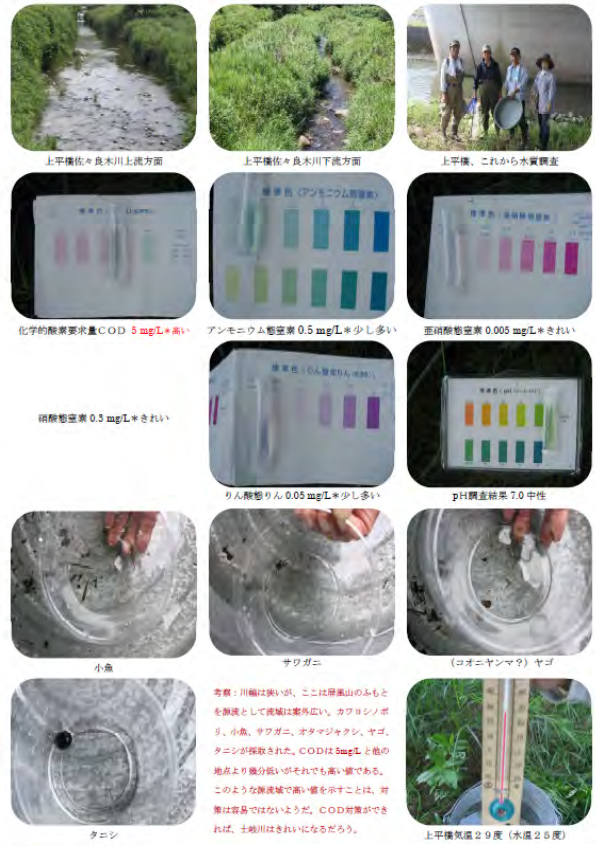


考察：ここは、釜戸川の鮎放流エリア。放流鮎を観察できた。水生生物はクロコウモシ、ヨシノボリ、エビ、ハダコトゴヤゴが採取できた。今回の目標の一つであるアサギ（鮎産卵体VU）が発見できた。40年前前は、どこにでもいて、むしろ厄介者であったそうだが、今は稀な地点でもCODは6mg/Lと値は高い。原因究明と対策が必要と思う。

調査隊：左から水野、井澤、佐藤夫婦

上平橋水温25度（気温30度）

伊勢湾流域圏一斉モニタリング調査 No.1-④上平橋
庄内川・土岐川・釜戸川の支流佐々良木川上平橋



考察：川幅は狭いが、ここは原高山のふもとを通過して滝域は意外広い。カワシノボリ、小魚、サワガニ、オタマジャクシ、ヤゴ、タニシが採取された。CODは5mg/Lと他の地点より幾分低いけれども高い値である。このような狭流域で高い値を示すことは、対策は容易ではないと思う。COD削減ができれば、土岐川はきれいになるだろう。

上平橋水温29度（水温25度）

H25年度伊勢湾流域圏一斉モニタリング調査 No.2-⑤不動橋

団体名：小里川ダム里山教室
調査月日：平成25年7月31日（水）晴（※一日午前中大雨）午前9時～12時半
参加者：
河川名：土岐川上流・釜戸川本流と支流竜崎からの不動川と下切橋上流部の処理場から流れる小川
地点名：
⑤瑞浪市釜戸町の竜崎川から流れる不動川に架かる不動橋
⑥瑞浪市釜戸町の釜戸川本流に架かる下切橋（※上流部に処理場からの小川あり）
⑦瑞浪市釜戸町の釜戸川支流の小川（※上流部に処理場あり）
⑧瑞浪市釜戸町の釜戸川本流に架かる境橋（※これより上流は夕立山湧流に至る）



考察：ここでは、特定外来種で防除対象のブラックバスとウシガエルが見つかった。昔はこんな生物はいなかった。釜戸川本流で増えたら問題だ。防除対象としては、不動橋上流部にある竜崎川の池干しが考えられる。

【団体名：瑞穂鯨城クラブ】

調査日：平成 25 年 7 月 31 日



【団体名：阿漕浦友の会】

調査日：平成 25 年 8 月 4 日



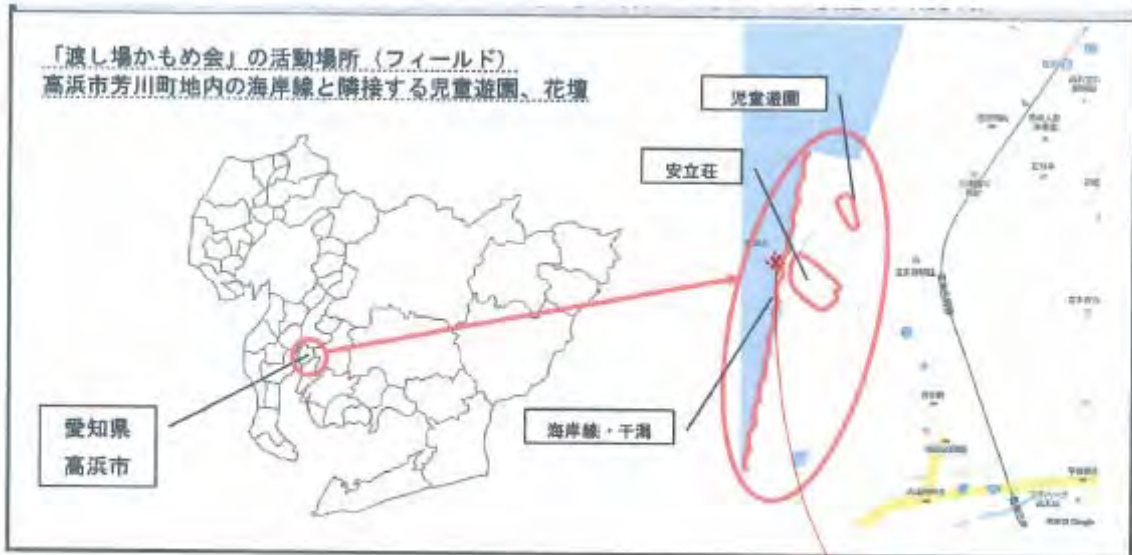
2018. 8. 4
阿漕浦

貝殻はツギムシが
シメフキです。
ウミガメはアカウミガメ

【団体名：渡し場かもめ会】

調査日：平成 25 年 8 月 4 日

かもめ会水質調査で使用する透視度調査器具



3

取水箇所

【団体名：フェザー安全剃刀（株） 関工場】

調査日：平成 25 年 8 月 2 日



採水場所の様子①



採水場所の様子②

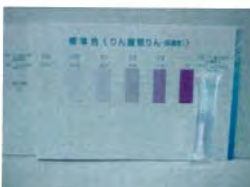
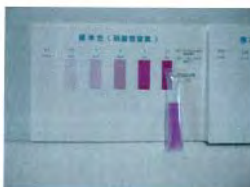
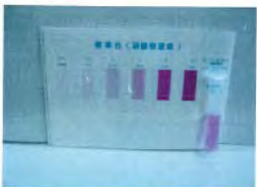
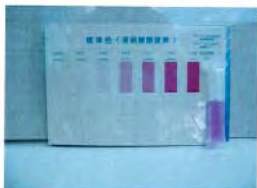
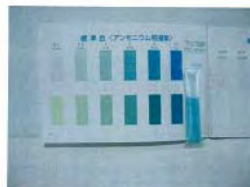
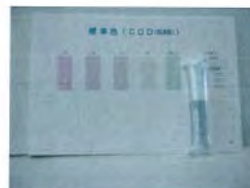


採水場所の下流



魚の群れ

試験結果



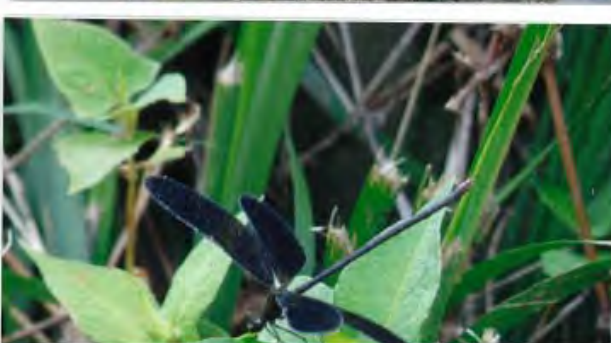
【団体名：白鳥庭園管理事務所】

調査日：平成 25 年 8 月 7 日



【団体名：尾石氏（個人）】

調査日：平成 25 年 8 月 10 日



【団体名：扇川を愛する緑の会】

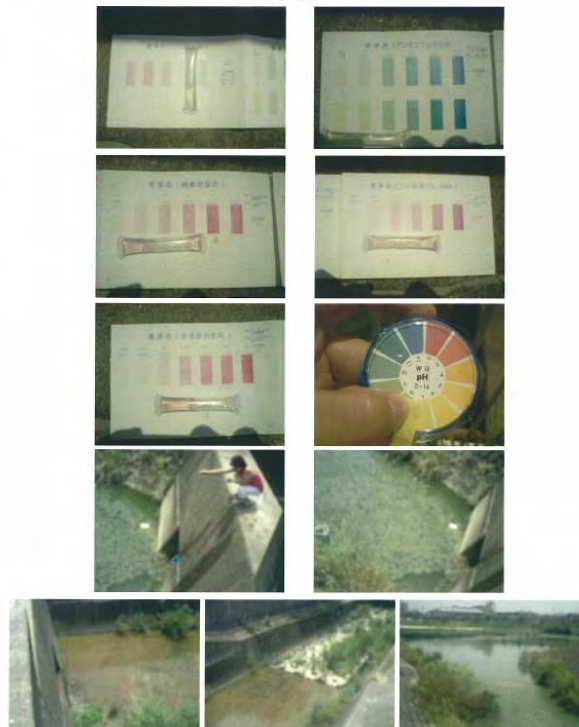
調査日：平成 25 年 7 月 28 日

扇川干潮時

扇川満潮時



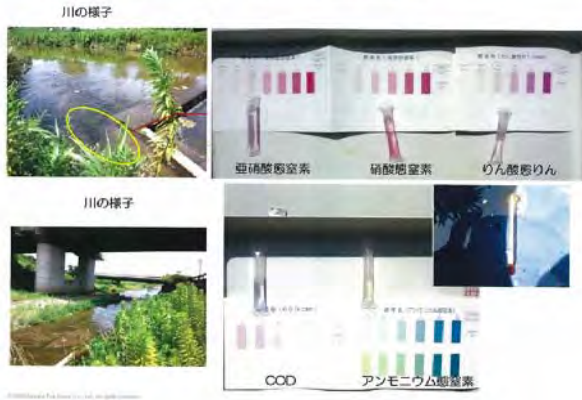
大池



【団体名：富士ゼロックス (1/3)】

調査日：平成 25 年 7 月 30 日、8 月 3、4 日

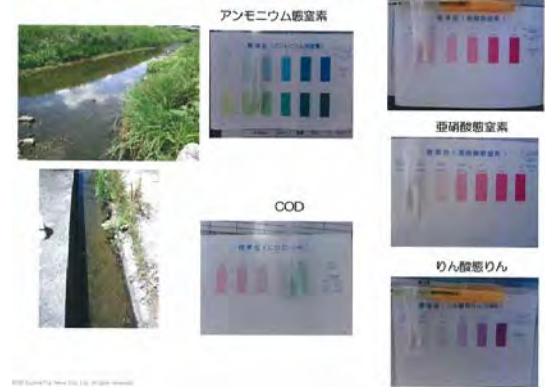
①伊勢湾圏一斉モニタリング 矢合川東名阪交差付近 8/4



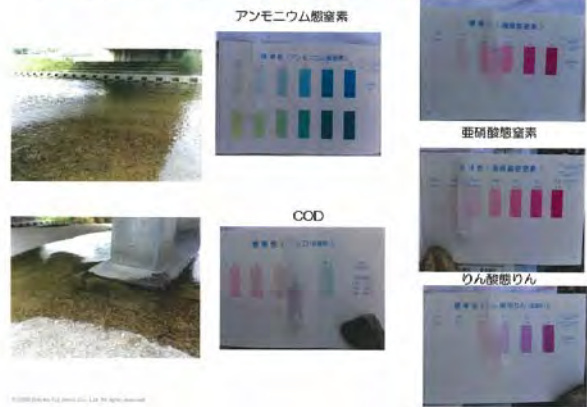
②伊勢湾圏一斉モニタリング 三滝川東名阪高架下付近 8/3



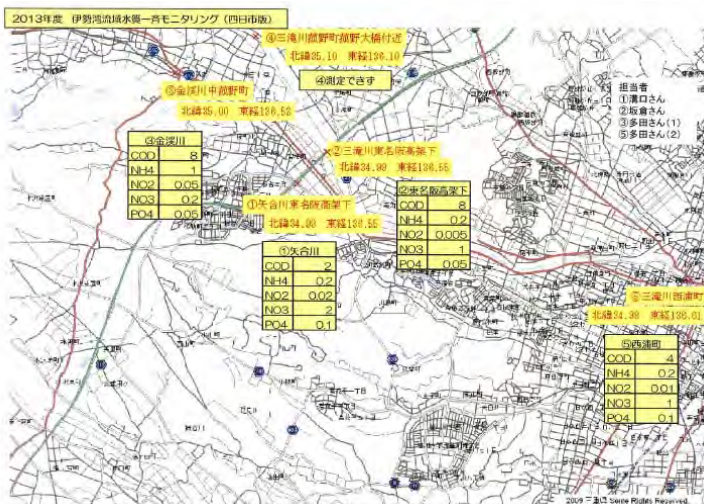
③伊勢湾圏一斉モニタリング 金沢川中蘆野町付近 8/3



④伊勢湾圏一斉モニタリング 三滝川西浦町付近 8/4



(図中の各数値の単位:mg/L)



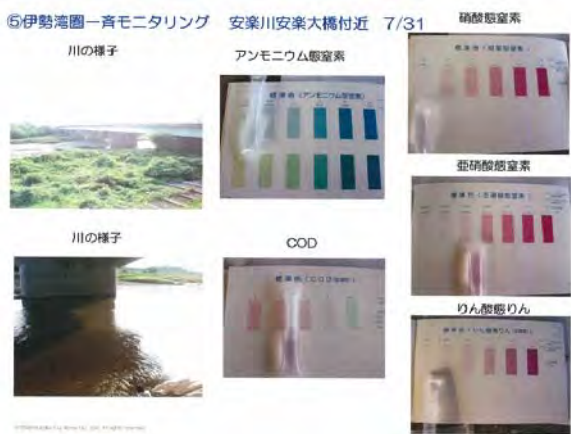
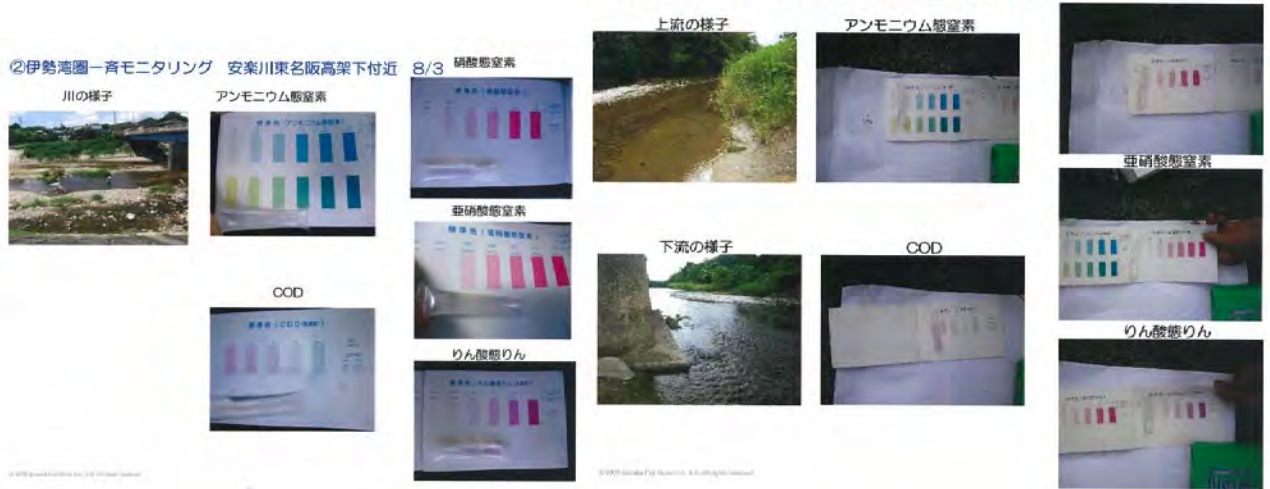
①伊勢湾圏一斉モニタリング 鈴鹿川東名阪高架下付近 7/30



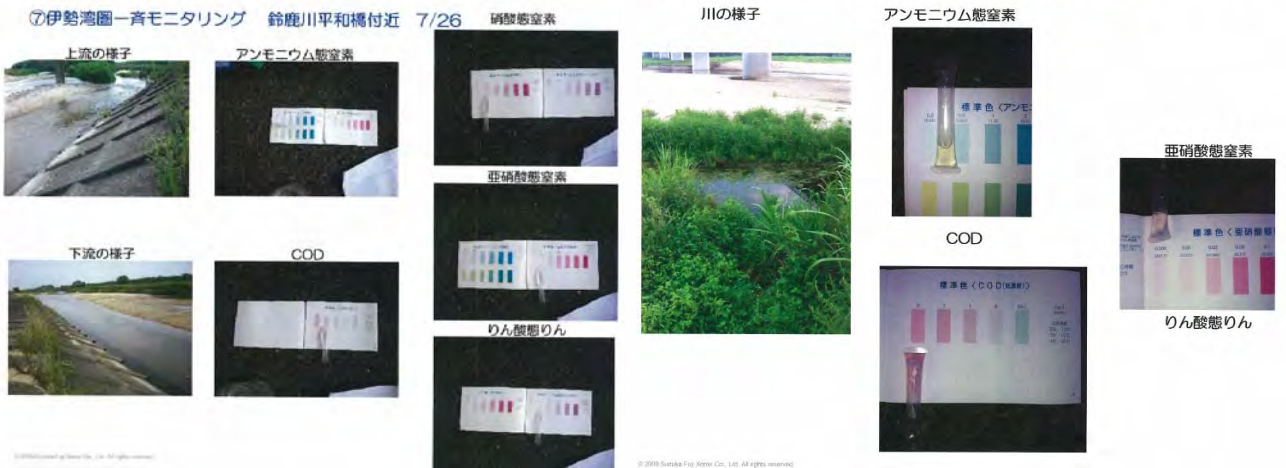
【団体名：富士ゼロックス (2/3)】

調査日：平成 25 年 7 月 26、28、31 日、8 月 3、4 日

④伊勢湾圏一斉モニタリング 御弊川鈴峰橋付近 7/26 硝酸態窒素



⑧伊勢湾圏一斉モニタリング 鈴鹿川定五郎橋付近 7/28 硝酸態窒素

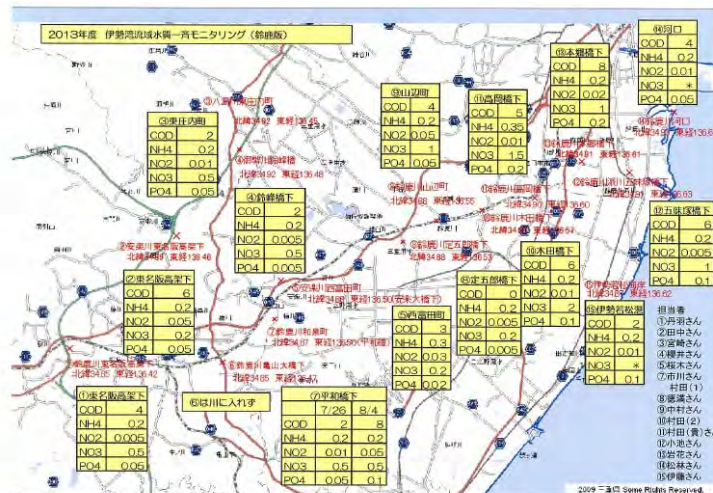


【団体名：富士ゼロックス (3/3)】

調査日：平成 25 年 7 月 26、30、31 日、8 月 2 日



(図中の各数値の単位: mg/L)



三重県「米洗川」水質調査地点



調査地点詳細

- ① 羽津北小学校南米洗川 北緯 34,59,51 東経 136,38,11
- ② 沢の川合流地点上流 北緯 35,0,2 東経 136,37,57
- ③ 沢の川（米洗川支流） 北緯 35,0,1 東経 136,37,56
- ④ 羽津用水（約 6 km離れた朝明川より農業用水として取水している川）
※参考のため、米洗川とは合流していないが比較調査しました。

【団体名：緑の会羽津】

調査日：平成 25 年 7 月 31 日



①調査地点



①地点の調査風景



参考地点の調査風景



③地点の調査風景



パックテスト中

3.4 ゴミ調査結果

【団体名：雲出川愛護モニター（1/2）】

調査日：平成25年7月27日



モニタリング地点の様子

ゴミの状況		気付いたこと		
川面・海面	水際	シラサギがテトラに陣取り小魚を捕食している風景は、水生動物を通じ概ね良好だと思う。バックテストでは全て測定範囲内です。昨年と比較すると数値が高いが、好天続きで降雨の影響ででしょうか		
① ゴミは見あたらない 2、ゴミが少しある 3、ゴミがかなりある	① ゴミは見あたらない 2、ゴミが少しある 3、ゴミがかなりある			
水におい	水の色	水量		
① 何も感じない 2、採水びんに顔を近づけるとにおう 3、水際に寄るとにおう 4、橋や堤防の上からにおう	濃さ	濁っている 中間 <u>澄んでいる</u>	量	水が無い 少ない <u>普通</u> 多い
	色	透明色	早さ	よどんでいる <u>歩く速さ</u> 走る速さ



モニタリング地点の様子

ゴミの状況		気付いたこと		
川面・海面	水際	松阪市街地ですが樹木が多く、野鳥も沢山見えずり、気持ちが良い場所です。管理が行き届いているのか、生活ごみ・不法投棄もなく、雑草も刈り取られていました。河川の状況もよく、底には藻が生い茂っています。		
① ゴミは見あたらない 2、ゴミが少しある 3、ゴミがかなりある	① ゴミは見あたらない 2、ゴミが少しある 3、ゴミがかなりある			
水におい	水の色	水量		
① 何も感じない 2、採水びんに顔を近づけるとにおう 3、水際に寄るとにおう 4、橋や堤防の上からにおう	濃さ	濁っている 中間 <u>澄んでいる</u>	量	水が無い 少ない <u>普通</u> 多い
	色	透明	早さ	よどんでいる <u>歩く速さ</u> 走る速さ

【団体名：雲出川愛護モニター（2/2）】

調査日：平成 25 年 7 月 27 日



ゴミの状況		気付いたこと	
川面・海面	水際	通門河口側と上流側とで風景はかなり異なります。河口側はコンクリート護岸で施行され、雑草が少し育成していますが、上流側は樹木が堤防にあり景観は良い感じですが、生活ごみ・空き缶・ペットボトルが少しあります。	
1、ゴミは見あたらない ② ゴミが少しある(土埃がかなり浮遊しています) 3、ゴミがかなりある	1、ゴミは見あたらない ② ゴミが少しある(空き缶・ペットボトル・発泡スチロール等) 3、ゴミがかなりある		
水におい	水の色	水量	
1、何も感じない 2、採水びんに顔を近づけるとにおう 3、水際に寄るとにおう ④ 橋や堤防の上からにおう(潮とヘドロ臭混合)	濃さ 濁っている 中間 澄んでいる	量	水が無い 少ない ⑤ 普通 多い
	色 河口側 濃い灰色 通門上流土色	早さ	よどんでいる 歩く速さ 走る速さ

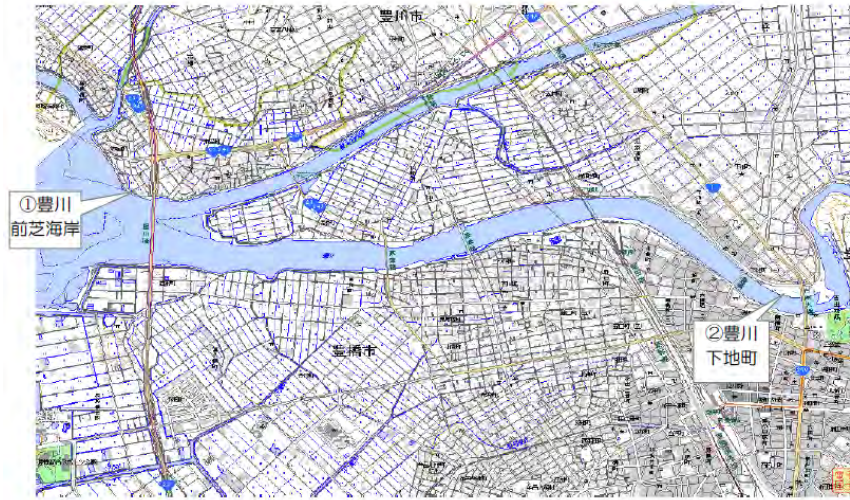


ゴミの状況		気付いたこと	
川面・海面	水際	採水時小魚が群れ、シラサギが捕食の準備をしていました。周りの環境は良く、中州・護岸周りは動植物が多そうです。親子連れで水生動物の観察を行っていました。水環境は概ね良好だと思います。	
1、ゴミは見あたらない ② ゴミが少しある(テトラに絡まったゴミあり) 3、ゴミがかなりある	1、ゴミは見あたらない ② ゴミが少しある(焚火あと・空き缶・ペットボトル) 3、ゴミがかなりある		
水におい	水の色	水量	
① 何も感じない 2、採水びんに顔を近づけるとにおう 3、水際に寄るとにおう 4、橋や堤防の上からにおう	濃さ 濁っている ⑥ 中間 澄んでいる	量	水が無い 少ない ⑤ 普通 多い
	色 透明色	早さ	よどんでいる ⑦ 歩く速さ 走る速さ

【団体名：豊川流域圏を学ぶグループ・みなと塾】

調査日：平成 25 年 7 月 24 日

「平成 25 年度 伊勢湾流域圏一斉モニタリング」



調査場所地図

調査日 7 月 24 日

調査地点 豊川右岸 下地

調査地点周辺の状況写真

ごみの状況写真



ペットボトル、発泡スチロールが散見する。

調査地点 豊川河口 前芝西浜

調査地点周辺の状況写真

漂着ゴミは漂っていない。
ここから北方の堤防下にはいつも漂着ゴミが散見される。
今回は、7月21日に地元の方がクリーン作戦海岸清掃を実施した後なので、漂着ゴミはほとんどなかった。

ごみの状況写真



3.5 水生生物調査結果

【団体名：津市】

調査日：平成 25 年 7 月 20 日

2013年度水生生物調査結果確認・修正

1/2 ページ

全国水生生物調査 **調査結果の登録** 確認・修正 観測値の閲覧 ログアウト 調査団体情報の確認・修正

D-1.調査結果の修正 >> 2.修正の完了 & 写真の変更
三重県 津市 津市

登録した内容を修正する場合は、内容を上書きして「修正して登録する」ボタンを押してください。
写真のみを変更する場合は、そのまま「修正して登録する」ボタンを押して、次の画面で写真を変更してください。

修正して登録する 入力内容のリセット 修正を中止する

経度	136° 24' 44"	淡水・感潮(汽水)の選択 <input checked="" type="radio"/> 淡水域 <input type="radio"/> 感潮域(汽水域)
緯度	34° 41' 39"	
河川名 (※変更不可)	長野川	水質階級
参加人数	23 人 (整数で入力してください)	水質階級 I
調査地点名	津市稲葉町地内(稲葉)	生物名
調査日時	2013 年 7 月 20 日 09(午前09) 時	発見
天気	晴れ	多く発見
水温	21.5 °C	1.アミカ類
川幅	20.0 m	2.ナミウズムシ
生物採取場所	<input checked="" type="checkbox"/> 川川中心 <input type="checkbox"/> 上流から見て右岸 <input type="checkbox"/> 上流から見て左岸	3.カワケラ類
水深	約20 cm (整数で入力してください)	4.サワガニ
流れのほやさ	普通(毎秒30~60cm)	5.ナガレトビケラ類
川底の状態	<input type="checkbox"/> 頭大の石が多い <input checked="" type="checkbox"/> こぶし大の石が多い <input type="checkbox"/> 小石と砂 <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> 砂と泥 <input type="checkbox"/> 泥 <input type="checkbox"/> コケ <input type="checkbox"/> その他	6.ヒラタカゲロウ類
水のおいしさ	においは感じられない	7.ブユ類
水にごり	透明またはきれい	8.ヘビトンボ
その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)	1.ヒゲナガカワトビケラ 2.シマトビケラ 3.コガシラミズムシ 4.シロタニガワカゲロウ 5.ナベブタムシ 6.サカマキガイ 7.マシジミ 8.モノアラガイ 9.ユスリカ 10.アガハネ	9.ヤマトビケラ類
魚類	1.カマツカ 2.カワヨシノボリ 3.オイカワ 4.シマドジョウ 5.アザ	31.ヨコエビ類
水草類	1. 2. 3. 4. 5.	水質階級 II
鳥類	1. 2. 3. 4. 5.	イシマキガイ
その他、気づいたこと(最大300文字)		オオシマトビケラ
写真(「修正して登録する」ボタンを押した後で修正できます)	写真が登録されていません。	カワナナ類
		ゲンジボタル
		コオニヤンマ
		コガタシマトビケラ類
		ヒラタドROMシ類
		ヤマトシジミ
		水質階級 III
		イソコツブムシ類
		タニシ類
		ニホンドロソコエビ
		シマイシビル
		ミズカマキリ
		ミズムシ
		水質階級 IV
		アメリカザリガニ
		エラミミズ
		サカマキガイ
		ユスリカ類
		チョウバエ類
		上記の生物を未発見 <input type="checkbox"/> 未発見
		水質階級の判定
		1.○印と●印の個数
		2.●印の個数
		3.合計(1.欄+2.欄)
		その地点の水質階級

修正して登録する 入力内容のリセット 修正を中止する

【団体名：かすがい環境まちづくりパートナーシップ】

調査日：平成 25 年 7 月 28 日

全国水生生物調査結果 集計用紙

調査団体名		かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議		複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに（ ）をつけて記入して下さい。	
市町村名		春日井市		調査参加人数	3人
調査担当者名		連絡先住所			
担当者連絡先		TEL	FAX	E-mail	

指標生物（見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい）		調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)				
水質階級 I	1	アミカ類			調査河川名	庄内川
	2	ナミウズムシ			調査地点名	35キロ付近右岸
	3	カワゲラ類			昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年の調査地点は昨年度と同じですか？ ■ 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は □ I ■ II □ III □ IV □ ちがう場所で調査した
	4	サワガニ		○		
	5	ナガレトビケラ類			調査日時	25 年 7 月 28 日 14 時 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)
	6	ヒラタカゲロウ類			天気	■ はれ □ くもり □ 雨 調査時の天気をチェックして下さい
	7	ブユ類			水温	## °C(小数点1桁まで記入して下さい)
	8	ヘビトンボ			川幅	約 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)
	9	ヤマトビケラ類			生物採取場所	□ 川の中心 ■ 上流から見て右岸 □ 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい
	10	ヨコエビ類				
水質階級 II	11	イシマキガイ			水深	約 40 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい
	12	オオシマトビケラ				
	13	カワニナ類			以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい	
	14	ゲンジボタル			流れのはやさ	□ 速い(毎秒60cm以上) ■ 普通(毎秒30~60cm) □ 遅い(毎秒30cm以下)
	15	コオニヤンマ		●	川底の状態	□ 頭大の石が多い □ こぶし大の石が多い ■ 小石と砂 □ コンクリート □ 砂と泥 □ 泥 □ コケ □ その他
	16	コガタシマトビケラ類		○		
	17	ヒラタドROMシ類		○	水のおい	□ においは感じられない ■ においが感じられる (ドブ、石油、薬のような不快感のあるにおい)
	18	ヤマトシジミ		○		
水質階級 III	19	イソコツブムシ類			水のごり	□ 透明またはきれい ■ 少しにごっている □ 大変にごっている
	20	タニシ類				
	21	ニホンドロソコエビ			この地点の水質階級は II です	
	22	シマイシビル				
水質階級 IV	23	ミズカマキリ			その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)	
	24	ミズムシ			ウ斯巴キトンボヤゴ、シオカラトンボヤゴ、	ヌマエビ(1~2cm)
	25	アメリカザリガニ				魚類
	26	エラミミズ				オイカワ稚魚、カワムツ稚魚、 ヨシノボリ類60匹以上、カマツカ(6cm)
	27	サカマキガイ				
	28	ユスリカ類			水草類	鳥類
	29	チョウバエ類				ツバメ、ヒヨドリ、カラス
水質階級の判定	水質階級		I	II	III	IV
	1. ○印と●印の個数		1	4		
	2. ●印の個数			1		
3. 合計(1欄+2欄)		1	5	0	0	
						川底の意思に苔がおおい。 COD 5, PH6.5

【団体名：港栄第一エコクラブ（1/3）】

調査日：平成25年8月3日

水生生物調査記録

調査場所名	庄内川水系堀川	調査日時	2013年8月3日：10時
調査員	港栄第一エコクラブ		
天気	晴れ	気温(℃)	33.8℃
採取場所	稚児宮人道橋	水深(cm)	20～40cm
流れの速さ	歩く速さ	川底の状態	砂地と石コロ
水のごり	少し濁っている	水のおい	水に顔を近づけると臭う
川の状況	オオカナダモなど水草が繁茂し、木立の枝葉が伸びて清涼感有り。水量は通常程度。		

・水質の指標生物

水質	指標生物	※数
きれいな水 水質階級Ⅰ	1 アミカ	
	2 ウズムシ	
	3 カワゲラ	
	4 サワガニ	
	5 ナガレトビケラ	
	6 ヒラタカゲロウ	
	7 ブユ	
	8 ヘビトンボ	
	9 ヤマトビケラ	
きたない水 水質階級Ⅲ	1 イソコツブムシ	
	2 タイコウチ	
	3 タニシ	
	4 ニホンドロソコエビ	
	5 ヒル	○
	6 ミズカマキリ	
	7 ミズムシ	

水質	指標生物	有無
少しきたない水 水質階級Ⅱ	1 イシマキガイ	
	2 オオシマトビケラ	
	3 カワニナ	
	4 ゲンジボタル	
	5 コオニヤンマ	
	6 コガタシマトビケラ	
	7 スジエビ	○
	8 ヒラタドロムシ	
	9 ヤマトシジミ	○
大変汚い水 水質階級Ⅳ	1 アメリカザリガニ	○
	2 エラミミズ	
	3 サカマキガイ	
	4 セスジユスリカ	
	5 チョウバエ	

・その他の生物

魚類	・ カワヨシノボリ	・ ダヤシ	・
両生類			
その他	・ スジエビ	・ヌマエビ	・ ヒル
	・ マシジミ	・ アメリカザリガニ	・ モクズガニ
	・ カワニナ	・ アメンボ	
陸上の生物	・ ハグロトンボ	・ アオモンイトトンボ	・ コミズジ(蝶)
	・ アブラゼミ	・ アオスジアゲハ	・

・水質調査

水温(℃)	26.5	COD(mg/l)	7.0
透視度(cm)		DO(mg/l)	
pH	計測忘れ		

【団体名：港栄第一エコクラブ (2/3)】

調査日：平成25年8月4日

水生生物調査記録

調査場所名	白谷川(五宝滝駐車場横)	調査日時	2013年8月4日：8時30分
調査員	港栄第一エコクラブ		
天気	晴れ	気温(°C)	25.5
採取場所	白谷川:五宝滝駐車場横より上流側	水深(cm)	10~20cm
流れの速さ	遅い	川底の状態	石がごろごろしている
水のごり	無色透明	水のおい	感じなかった
川の状況	川幅が5m程度で左岸は一部、右岸は全面コンクリート護岸。水温は19.6度と低く、透明度が高い。水位はひざ下程度で夏場は子どもの水遊び場となっている。河床は、丸みの少ない小さな石が多く、大きめの石の下にはトビゲラ、ヒラタカゲロウが付着・生息していた。 測定場所:木曽川水系荒川支流白谷川(五宝滝駐車場横)		

・水質の指標生物

水質	指標生物	※数
きれいな水	1 アミカ	
	2 ウズムシ	
	3 カワゲラ	○
	4 サワガニ	○
	5 ナガレトビケラ	○
	6 ヒラタカゲロウ	○
	7 ブユ	
	8 ヘビトンボ	○
	9 ヤマトビケラ	○
きたない水	1 イソコツブムシ	
	2 タイコウチ	
	3 タニシ	
	4 ニホンドロソコエビ	
	5 ヒル	
	6 ミズカマキリ	
	7 ミズムシ	

水質	指標生物	有無
少しきたない水	1 イシマキガイ	
	2 オオシマトビケラ	
	3 カワニナ	
	4 ゲンジボタル	
	5 コオニヤンマ	
	6 コガタシマトビケラ	
	7 スジエビ	
	8 ヒラタドロムシ	
	9 ヤマトシジミ	
大変汚い水	1 アメリカザリガニ	
	2 エラミミズ	
	3 サカマキガイ	
	4 セスジユスリカ	
	5 チョウバエ	

・その他の生物

魚類	・ カワムツ?稚魚	・ カワヨシノボリ	・ ナマズ
両生類	・ オタマジャクシ		
その他	・ ガガンボ		
陸上の生物	・ シオカラトンボ	・ にほんカワトンボ	・ コミズジ(蝶)

・水質調査

水温(°C)	19.6	COD(mg/l)	3.0
透視度(cm)		DO(mg/l)	
pH	6.32		

【団体名：港栄第一エコクラブ（3/3）】

調査日：平成25年8月4日

白谷川

平成25年8月4日（日）モニタリング



【団体名：祇川環境美化推進協議会（1/3）】

調査日：平成25年6月27日

平成25(2013)年度全国水生生物調査結果 集計用紙

別紙2

調査団体名		祇川環境美化推進協議会 (下御糸小学校 3年生・4年生)		複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに()をつけて記入して下さい。	
市町村名		明和町		調査参加人数	51人
調査担当者名		連絡先住所			
担当者連絡先		TEL	FAX		

指標生物 (見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●をつけて下さい)				調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)		
水質階級Ⅰ	1 アミカ	○	1	調査河川名	祇川	
	2 ウズムシ			調査地点	下御糸橋上流200m付近	
	3 カワゲラ			昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年度の調査地点は昨年度と同じですか? <input checked="" type="checkbox"/> 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は <input type="checkbox"/> Ⅰ <input checked="" type="checkbox"/> Ⅱ <input type="checkbox"/> Ⅲ <input type="checkbox"/> Ⅳ <input type="checkbox"/> ちがう場所で調査した	
	4 サワガニ			調査日時	2013年6月 27日 14時 開始時刻を24時間で記入して下さい。	
	5 ナガレトビゲラ			天気	<input checked="" type="checkbox"/> はれ <input type="checkbox"/> くもり <input type="checkbox"/> 雨 調査時の天気をチェックして下さい	
	6 ヒラタカゲロウ			水温	20.0℃ (小数点1桁まで記入して下さい)	
	7 ブユ			川幅	約 30m 水の流れの幅を整数で記入して下さい	
	8 ヘビトンボ			生物採取場所	<input type="checkbox"/> 川の中心 <input checked="" type="checkbox"/> 上流から見て右岸 <input type="checkbox"/> 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい	
	9 ヤマトビケラ			水深	約 50cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい	
水質階級Ⅱ	1 イシマキガイ	●	23	以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい		
	2 オオシマトビゲラ			流れのはやさ	<input checked="" type="checkbox"/> 速い (毎秒60cm以上) <input type="checkbox"/> 普通 (毎秒30~60cm) <input type="checkbox"/> 遅い (毎秒30cm以下)	
	3 カワナナ	○	3	川底の状態	<input type="checkbox"/> 頭大の石が多い <input type="checkbox"/> こぶし大の石が多い <input type="checkbox"/> 小石と砂 <input type="checkbox"/> コンクリート <input checked="" type="checkbox"/> 砂と泥 <input type="checkbox"/> 泥 <input type="checkbox"/> コケ <input type="checkbox"/> その他	
	4 ゲンジボタル				水のおい	<input checked="" type="checkbox"/> においは感じられない <input type="checkbox"/> においが感じられる (ドブ・石油・薬のような不快感のあるにおい)
	5 コオニヤンマ				水のごり	<input type="checkbox"/> 透明またはきれい <input type="checkbox"/> 少しにごっている <input checked="" type="checkbox"/> 大変にごっている
	6 コガタシマトビケラ					
	7 スジエビ					
	8 ヒラタドロムシ					
	9 ヤマトシジミ	●	215			
水質階級Ⅲ	1 イソコツブムシ					
	2 タイコウチ					
	3 タニシ	○	15			
	4 ニホンドロソコエビ					
	5 ヒル					
	6 ミズカマキリ					
	7 ミズムシ					
水質階級Ⅳ	1 アメリカザリガニ					
	2 エラミミズ	○	1			
	3 サカマキガイ					
	4 セスジュスリカ					
	5 チョウパエ					
水質階級の判定	水質階級	I	II	III	IV	
	1 ○印と●印の個数	1	3	1	1	
	2 ●印の個数	0	2	0	0	
3 合計(1.欄+2.欄)		1	5	1	1	
その地点の水質階級		です				

その他の生物 (水生昆虫・貝・エビ・カニ類)		魚類
ヒライソガニ、マシジミ、スジエビ、		マハゼ、イズミハゼ
モクズヨコエビ、イソスジエビ、		
テナガエビ、イソコツブムシ、		
水草類	鳥類	その他、気づいたこと

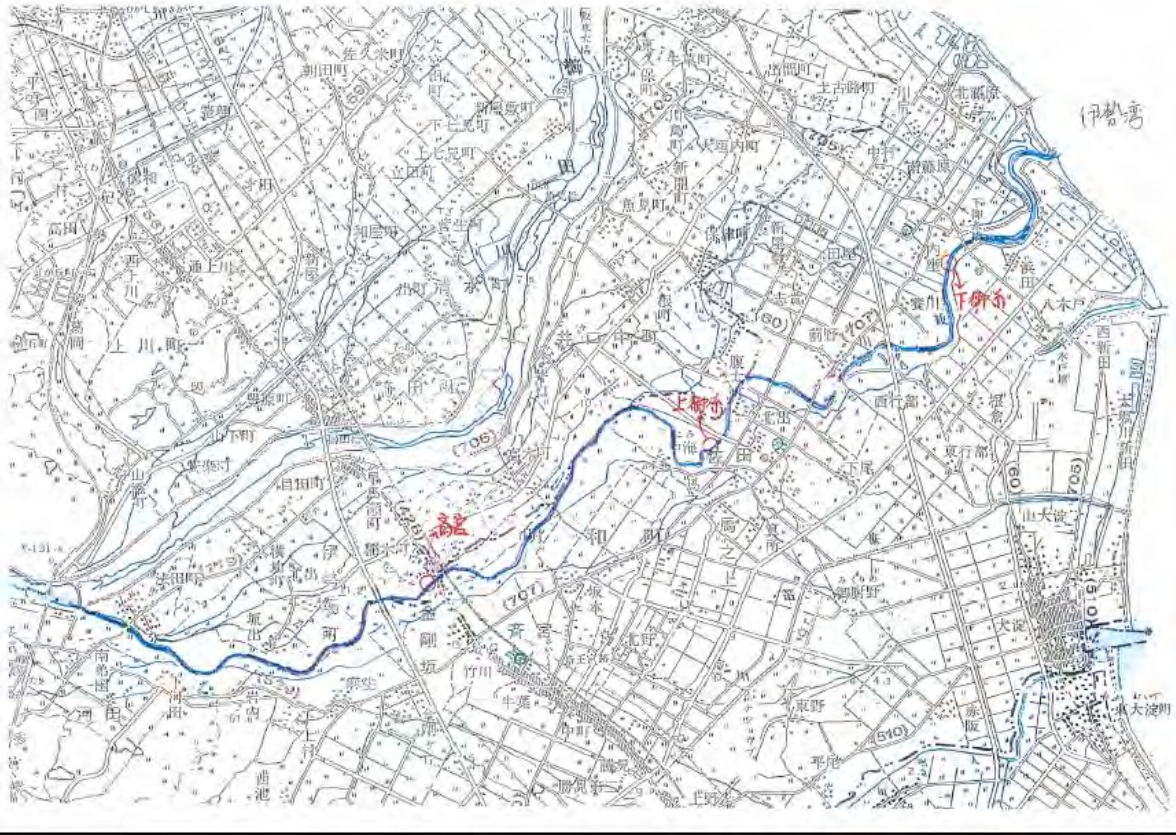
【団体名：祓川環境美化推進協議会（2/3）】

調査日：平成 25 年 6 月 27 日



【団体名：祓川環境美化推進協議会（3/3）】

調査日：平成 25 年 6 月 27 日



【団体名：むらおこし・かみみいと (1/2)】

調査日：平成 25 年 6 月 28 日
別紙2

平成25(2013)年度全国水生生物調査結果 集計用紙

調査団体名		むらおこし・かみみいと (上御糸小学校 4年生)		複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに()をつけて記入して下さい。			
市町村名		明 和 町		調査参加人数	50 人		
調査担当者名		連絡先住所					
担当者連絡先		TEL	FAX				
指標生物 (見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●をつけて下さい)				調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)			
水質階級 I	1	アミカ				調査河川名	祓川
	2	ウズムシ				調査地点	須田橋付近
	3	カワゲラ				昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年の調査地点は昨年度と同じですか? <input type="checkbox"/> 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は <input type="checkbox"/> I <input checked="" type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> ちがう場所で調査した
	4	サワガニ	●	18		調査日時	2013年6月 28日 14時
	5	ナガレトビゲラ				天気	<input type="checkbox"/> はれ <input checked="" type="checkbox"/> くもり <input type="checkbox"/> 雨 調査時の天気をチェックして下さい
	6	ヒラタカゲロウ	○	3		水温	14.℃ (小数点1桁まで記入して下さい)
	7	ブユ				川幅	約 20 m 水の流れの幅を整数で記入して下さい
	8	ヘビトンボ				生物採取場所	<input type="checkbox"/> 川の中心 <input checked="" type="checkbox"/> 上流から見て右岸 <input type="checkbox"/> 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい
	9	ヤマトビケラ				水深	約 20 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい
水質階級 II	1	イシマキガイ	●	18		以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい	
	2	オオシマトビゲラ				流れのはやさ	<input checked="" type="checkbox"/> 速い (毎秒60cm以上) <input type="checkbox"/> 普通 (毎秒30~60cm) <input type="checkbox"/> 遅い (毎秒30cm以下)
	3	カワニナ	○	6		川底の状態	<input type="checkbox"/> 頭大の石が多い <input type="checkbox"/> こぶし大の石が多い <input checked="" type="checkbox"/> 小石と砂 <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> 砂と泥 <input type="checkbox"/> 泥 <input type="checkbox"/> コケ <input type="checkbox"/> その他
	4	ゲンジボタル					水のおい
	5	コオニヤンマ	●	17		水のごり	<input type="checkbox"/> 透明またはきれい <input checked="" type="checkbox"/> 少しにごっている <input type="checkbox"/> 大変にごっている
	6	コガタシマトビケラ					その地点の水質階級
	7	スジエビ	○	6			
	8	ヒラタドロムシ					
	9	ヤマトシジミ					
水質階級 III	1	イソコツブムシ					
	2	タイコウチ					
	3	タニシ	○	14			
	4	ニホンドロソコエビ					
	5	ヒル					
	6	ミズカマキリ	○	2			
	7	ミズムシ					
水質階級 IV	1	アメリカザリガニ	○	8			
	2	エラミミズ					
	3	サカマキガイ	○	1			
	4	セスジュスリカ					
	5	チョウバエ					
水質階級の判定	水質階級		I	II	III	IV	
	1	○印と●印の個数	2	4	2	2	
	2	●印の個数	1	2	0	0	
3	合計(1.欄+2.欄)	3	6	2	2		
その地点の水質階級		II		です			
その他の生物 (水生昆虫・貝・エビ・カニ類)				魚 類			
モクスガニ				ウナギ、オイカワ、タナゴ、ハゼ、フナ			
水草類				鳥 類			
				その他、気づいたこと			

【団体名：むらおこし・かみみいと (2/2)】

調査日：平成 25 年 6 月 28 日



【団体名：むらおこし・さいくう祓川環境美化（1/4）】

調査日：平成25年6月7日

平成25(2013)年度全国水生生物調査結果 集計用紙

別紙2

調査団体名		むらおこし・さいくう祓川 (齋宮小学校 5年生)			複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに()をつけて記入して下さい。	
市町村名		明和町		調査参加人数	110人	
調査担当者名		連絡先住所				
担当者連絡先		TEL	FAX	E-mail		

指標生物 (見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●をつけて下さい)					調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)		
水質階級 I	1 アミカ				調査河川名	祓川	
	2 ウズムシ				調査地点	祓川橋上流200m付近	
	3 カワゲラ	○	1		昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年度の調査地点は昨年度と同じですか? <input checked="" type="checkbox"/> 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は <input type="checkbox"/> I <input checked="" type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> ちがう場所で調査した	
	4 サワガニ	○	6		調査日時	2013年6月 7日 14時 開始時刻を24時間で記入して下さい。	
	5 ナガレトビゲラ	○	1		天気	<input checked="" type="checkbox"/> はれ <input type="checkbox"/> くもり <input type="checkbox"/> 雨 調査時の天気をチェックして下さい	
	6 ヒラタカゲロウ				水温	23.℃ (小数点1桁まで記入して下さい)	
	7 ブユ				川幅	約 15m 水の流れの幅を整数で記入して下さい	
	8 ヘビトンボ	○	1		生物採取場所	<input type="checkbox"/> 川の中心 <input type="checkbox"/> 上流から見て右岸 <input checked="" type="checkbox"/> 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい	
	9 ヤマトビケラ				水深	約 30cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい	
水質階級 II	1 イシマキガイ	○	4		以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい		
	2 オオシマトビゲラ				流れのよさ	<input type="checkbox"/> 速い (毎秒60cm以上) <input checked="" type="checkbox"/> 普通 (毎秒30~60cm) <input type="checkbox"/> 遅い (毎秒30cm以下)	
	3 カワニナ	●	7		川底の状態	<input type="checkbox"/> 頭大の石が多い <input checked="" type="checkbox"/> こぶし大の石が多い <input type="checkbox"/> 小石と砂 <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> 砂と泥 <input type="checkbox"/> 泥 <input type="checkbox"/> コケ <input type="checkbox"/> その他	
	4 ゲンジボタル				水のおい	<input checked="" type="checkbox"/> においは感じられない <input type="checkbox"/> においが感じられる (ドブ・石油・薬のような不快感のあるにおい)	
	5 コオニヤンマ	○	5		水のにごり	<input checked="" type="checkbox"/> 透明またはきれい <input type="checkbox"/> 少しにごっている <input type="checkbox"/> 大変にごっている	
	6 コガタシマトビケラ				その地点の水質階級		
	7 スジエビ	●	9		です		
	8 ヒラタドロムシ	○	3				
	9 ヤマトシジミ	○	6				
水質階級 III	1 イソコツブムシ						
	2 タイコウチ						
	3 タニシ	○	6				
	4 ニホンドロソコエビ	○	1				
	5 ヒル						
	6 ミズカマキリ	●	7				
	7 ミズムシ						
水質階級 IV	1 アメリカザリガニ	○	5				
	2 エラミミズ						
	3 サカマキガイ						
	4 セスジユスリカ						
	5 チョウバエ						
水質階級の判定	水質階級	I	II	III	IV		
	1 ○印と●印の個数	4	6	3	1		
	2 ●印の個数	0	2	1	1		
3 合計(1.欄+2.欄)	4	8	4	2			

その他の生物 (水生昆虫・貝・エビ・カニ類)		魚類	
ヤゴ、アオヒゲナガトビケラ、ミゾガイ マツカサガイ、		メダカ、ハゼ、オイカワ、ナマズ、ドジョウ、 モロコ、ネコギギ、ゴリ類	
水草類		鳥類	
-		-	
		その他、気づいたこと	

【団体名：むらおこし・さいくう祓川環境美化（2/4）】

調査日：平成 25 年 6 月 7 日

(単位：個体数)

		松組	竹組	梅組	種類別	まとめ
きれいな水	1	アミカ				0
	2	ウズムシ				0
	3	カワゲラ		1	1	2
	4	サワガニ	3	3	3	9
	5	ナガレトビゲラ			1	1
		ヨコエビ類	9	17		
	6	ヒラタカゲロウ				0
	7	ブユ				0
	8	ヘビトンボ	1	1		2
9	ヤマトビケラ				0	
ややきれいな水	1	イシマキガイ	2		2	4
	2	オオシマトビゲラ				0
	3	カワニナ	3	7	4	14
	4	ゲンジボタル				0
	5	コオニヤンマ	2	6	3	11
	6	コガタシマトビゲラ				0
	7	スジエビ		3	6	9
	8	ヒラタドロムシ	2	1	1	4
	9	ヤマトシジミ	5	2	1	8
きたない水	1	イソコツブムシ				0
	2	タイコウチ				0
	3	タニシ	5	3	1	9
	4	ニホンドロソコエビ			1	1
	5	ヒル				0
	6	ミズカマキリ	3	3	4	10
	7	ミズムシ				0
大変きたない水	1	アメリカザリガニ	2	2	3	7
	2	エラミミズ				0
	3	サカマキガイ				0
	4	セスジユスリカ				0
	5	チョウバエ				0
その他の生き物		フナ				0
		ナマズ	1			1
		カイ				0
		タナゴ				0
		ドジョウ	1			1
		ウナギ				0
		スナホリ				0
		ヤゴ	20			20
		モロコ	1			1
		メダカ	19		12	31
		ハゼ	3		1	4
		カレハトンボ幼虫				0
		ネコギギ	1			1
		ヨシノボリ				0
		オタマジャクシ				0
		エビ				0
		モズクガニ				0
		シラハヨ				0
		ズボ				0
		ゴリ類	4			4
		マツカサガイ	1			1
	アオヒゲナガトビヒ	1			1	
	ミゾガイ	1			1	
	オイカワ			2	2	
	ブルーギル				0	

【団体名：むらおこし・さいくう祓川環境美化（3/4）】

調査日：平成 25 年 6 月 7 日



【団体名：むらおこし・さいくう祓川環境美化（4/4）】

調査日：平成 25 年 6 月 7 日



4. 感想等

一斉モニタリングの参加者から感想を頂きました。

◆参加者名、団体名：木曾川河川下流事務所

◆主な観測地点：長良川

◆主な観測地点：揖斐川

- ・ 外気温度が 36.5 度で直射日光下での調査となるため、検水をポリビンで持ち帰り採水後 20 分程度に水温と同程度の室温で測定した。その結果、外気温（採水時気温 36.5 度）による水温上昇の影響を受けず正常な測定ができた。炎天下での測定を行った場合には、水温が測定値に影響を与えるものと推測される。高水温でのパックテストのCODは値が高くでるとの意見を採水分析業者より聞いた。
- ・ 定期採水の検水と同じものを使用してパックテストで測定したので今後、計量証明書で確定した測定値と比較し、パックテストデータの確からしさを確認することとする。

◆参加者名、団体名：豊川流域圏を学ぶグループ・みなと塾

◆主な観測地点：豊川 下地

◆主な観測地点：豊川 前芝海岸西浜

- ・ より良い水環境の下、多様な生物が生息・生育できる“健全な伊勢湾・三河湾2の再生を図るためには、三河流域圏の生物多様性評価も必要ではないでしょうか。

◆参加者名、団体名：グループ“かすみ草”

◆主な観測地点：堀川 小塩橋

- ・ 数日前から雨が（ゲリラ的に）降り、満潮の潮止りのためか水量も多く、流れもなく、木の葉やポリ袋等のゴミやヘドロ（？）の固まりが多くありました。
- ・ 水の色も悪く透視度の数値も悪かったです。

◆参加者名、団体名：別所団地西鹿乗川美化クラブ

◆主な観測地点：西鹿乗川 別所団地児童公園西側

- ・ 昨年の中間報告を頂き、調査方法に改善と加えた。①メンバーに少しづつ役割を持ってもらった。②写真記録をとることとした。
- ・ 水はやや白濁していたが、透視度 95cmを好調、COD等も昨年よりきれいな川に近づいている。

◆参加者名、団体名：雲出川愛護モニター

◆主な観測地点：中村川一志橋付近

- ・ 中村川一志橋周辺は保育園・公民館があり、周りは田園・畑と自然環境には恵まれたところだと思います。野鳥・植物も多く、採水時小魚がたくさん群れをなして泳ぎ回っていました。数値結果は中流域ではよいと思います。化学肥料・農薬・工場排水・生活排水等の影響も数値上問題なくよいと思います。降雨の時、河川に流れ込む数値の値は異

なるでしょうが、たくさんの小魚と植物が確認でき概ね良好だと思います。

◆主な観測地点：坂内川三郷井関

- ・ 住宅街を流れる河川ですが不法投棄・生活ごみ等が確認できず、パックテストでは許容範囲内で全て収まっています。概ね水環境は良好だと思います。

◆主な観測地点：金剛川潮止通門

- ・ 川幅も広くハマボウが咲き、潮の匂いも適度に感じられ景観は良好です。しかし、採水場所の通門では潮とヘドロ臭が交わった匂いを感じます。
- ・ 河口部では堆積物が黒く硫化水素の泡が多く確認できます。通門上流部では土色の粘土のような形態です。
- ・ 水面では砂ほこりの様な浮遊物が漂い水流・水量の水なさを物語っています。水環境はアシ群が多くシラサギ・カルガモの群れを確認できますが、河口の硫化水素の泡、上流のヘドロ臭といい状態ではないと思います。

◆主な観測地点：愛宕川潮止通門

- ・ 採水場所は潮止通門上流ですが海底の土質はヘドロ状で川面の泡の発生も多く、生き物も少ないように感じられます。カニ類（チゴガニ・コメツキガニ・アシハラガニ等）は確認できません。通門上流部は水量も豊富でアシが繁茂し昆虫類も生息していると思います。通門で自然環境がかなり異なっています。
- ・ パックテストの水質検査では範囲内ですが、不法投棄・生活ごみが少し確認され景観・風景上芳しくありません。

◆主な観測地点：雲出川新井関門

- ・ 野鳥の囀りが多く、水量も流れもあり河川周辺は田園・畑が多く、住宅・工場も少なく動植物にはよい環境だと思います。水質結果を確認すると雲出川下流部ですが不純物が少なく感じられます。毎年、河口部には多くの渡り鳥が飛来し、貝採取の漁師・漁船も多く出漁されます。水生動物観察会では多くの生き物を観察でき、自然に恵まれた環境にあると思います。

◆参加者名、団体名：養老公園事務所

◆主な観測地点：滝谷川 養老の滝 滝壺

◆主な観測地点：滝谷川 松風橋

- ・ 養老公園の中を流れる滝谷川は、指標をみる限り非常にきれいな水質を保っていることがわかりました。しかし、この水が牧田川、揖斐川を経てどのように変化するのか、場所を追って調べていけると面白いかもしれなしいと思います。
- ・ 今後、養老町などに働きかけ、調査地点を増やすことで面的に捉えることができるようになれば面白い結果がでてくるのではないかと思います。

◆参加者名、団体名：小塩通信

◆主な観測地点：長良川 鏡島大橋

- ・ 前回、調査場所まで行くのに、草が生えていて、かつ一人でしたので、少し不安でした。

今回より、「長良川一斉清掃運動」（毎年、長良川花火大会の次の日に実施）にあわせて調査しました。従業員を含め三名体制でしたので、心細い等の不安もなく、ゴミ袋を持参し、清掃することもできたので、なんだかきれいになった気分でした。今後もモニター調査を行う際には、ゴミ袋を持参して参加していきたいです。

◆参加者名、団体名：高木氏（個人）

◆主な観測地点：明德池 排水口前

- ・ 気温より水温が高いので2回取水して測定したがほぼ同じ結果だった。ペットボトル改造のバケツのため、本当に表層から取水したためと思われる。気温はわずか40分間に1.5℃も上昇した。
- ・ 測定器の精度はプラスマイナス1.0℃であるが、相対的に信頼できると思う。最少メモリ0.1℃。
- ・ 周りで釣人が練餌をどんどん使っている。また、測定しているすぐ近くの釣人がタバコを吸い出し、ほかに吸い殻のポイ捨てを行った。測定値に影響がでるのではないかと心配であったが、窒素やリンの出方を見ると出ていないように思える。CODが高い理由が理解できない。
- ・ 水は黄色かかった緑。水面に地サ菜エビが沢山、小魚が何匹か、オタマジャクシが2匹泳いでいた。

◆主な観測地点：塚ノ杵池 排水口前

- ・ 岸の近くは、(イヌ?) タヌキモが繁茂、ガガブタが少し生えていたので、その向こうの水面がみえる所までペットボトルに石をつけたものを投げ取水した。
- ・ 晴れだったが、急に雨が降ってきた。サンプルはその前の水。雨は容器にほとんど入っておらず影響はないと思う。

◆参加者名、団体名：庄内川に黒松並木つくり隊

◆主な観測地点：庄内川 横井大橋

- ・ ここ横井大橋を調査点に選んだ理由が二つあり、同川水的环境負荷が大きい場所で特に潮汐により、SS物質が停滞しやすくへドロ化しやすい場所だからです。
- ・ 調査時に知り合いのボランティア団体がゴミ拾いしているのにであり、先に提供したゴミ袋保持具の使用具合の感想を聞くことができた。

◆主な観測地点：イカダ川河口 伊勢湾岸自動車道第2イカダ川大橋

- ・ 昨夜に夜釣りに出たのかモーターボートに3~4人が乗って3台が帰ってきた。皆ぐったりしている。また、川の水が昨日までの風の影響で悪化したと釣人がこぼしていた。

◆主な観測地点：名古屋港 トリトン西橋詰

- ・ 水辺空間の利用状況 夏休みらしく、10才位の女の子を含む家族連れが釣りに来た。先客の釣人2人一向に竿が上がらない。やはり釣れないようだ。皆さん野球場の方から根石の上から危なっかしく大回りして歩いてきてる。簡単な降り口があるといいかと思った。

◆主な観測地点：名古屋港 金城大橋下

- ・ 水辺空間の利用状況 相変わらず老人の憩いの居場所で数人が集まっている。途中で2人が入れ替わって、話題は釣果から始まり政治文化歴史経済と何でもアリで話題は尽きない。

◆参加者名、団体名：エコネット安城 河川部会

◆主な観測地点：半場側 北梶橋

- ・ 今回の結果だけではないが、見た目の「水の色」と「測定結果」が一致しない。

◆主な観測地点：新田川 惣山橋

- ・ パックテストの検水の吸水が意外と難しかった。私たち河川部会は、5年前から月一回新田川の水質調査は行っていたが、いつも同じ人がパックテストを行っていた。今回、メンバー全員で実施したところうまく吸水できない人が多くいた。

◆参加者名、団体名：四日市市立山手中学校 理科部

◆主な観測地点：海蔵川

- ・ 今回僕はストップウォッチを使って時間を計る係りだったのでCODといった各種検査はしませんでした。みんなで一緒にしたので、よくわかりました。そして、自分がよくわたる海蔵川はきれいなところもあれば汚いところもあるということで、もっときれいにしなければと、思いました。

◆主な観測地点：海蔵川河口

- ・ 海蔵川はそんなに汚れていない。川は普通に見たら、濁っているように見えるけど、採水ビンに入ると透明に見えた。
- ・ 調査をしている時は干潮で、普段は水中にいて見えないカニなどの生き物が足元にいた。採水してみると、見た目よりも水がきれいだったので他の生き物もいるかもしれないと思った。モニタリングの結果を見てみて、すべての数値がだいたい低かったのよいいということなのだと思った。

◆参加者名、団体名：第四管区海上保安本部

◆主な観測地点：伊勢湾 名古屋港

- ・ 採取した日は、大雨の後であったことから、水がかなり濁った状態でした。調査は1回目ガーデンふ頭（堀川河口付近）2回目 ガーデンふ船（南極観測船ふじ付近）と場所を移動して実施した。実施結果は、堀川河口付近の方が、水の匂いが若干強く、計測した数値も高かった。

◆主な観測地点：三河湾 三河港（豊橋）

- ・ 三河港豊橋地区の海水を採水し、調査した結果、昨年度と比較してCODを含めすべての調査項目の数値が低くなっており、数値のみだけみると水質が改善されているものと思料される。海が透明度が低く、見た目も昨年度と大きく変わっていないことから、今後も継続して観察していく。

◆主な観測地点：伊勢湾 鳥羽港

- ・ 今後も継続して、水質調査を実施していきたい。

◆主な観測地点：伊勢湾 常滑港

- ・ 採水場所付近では小魚を多数確認することができた。

◆主な観測地点：伊勢湾 衣浦港

- ・ 伊勢湾再生を目指し、湾全体での実態把握は重要であることから、今後も調査を継続してもらいたい。

◆主な観測地点：伊勢湾 伊良湖

- ・ 水は少し濁っているものの、匂いもなかった。

◆主な観測地点：伊勢湾 四日市港

◆参加者名、団体名：五十鈴中学校

◆主な観測地点：五十鈴川 御側橋

- ・ 平成 25 年度三重河川水生生物調査と一緒にさせていただきましたが、短時間に調査も終わりよかったです。

◆参加者名、団体名：藤前干潟を守る会

◆主な観測地点：庄内川 庄内大橋

- ・ 曇り空だが、川の流れに心地よさを感じる。ヨシや水際にはゴミが大量にある。
- ・ 夏場としては、透視度が 83.0 cm CODが 7 mg/l とまずまずの値。7月1日に実施た名古屋市の調査でも透視度が 91.5 cm CODが 6 mg/l と透視度が高い数値を示しうれしい思いをした。
- ・ 最大満潮時刻の 2.5 時間後にサンプリングした。大潮のため、最大干潮時刻に近いと川底に土砂が巻き上がるため。
- ・ 名古屋市の市民モニタリングを同じ場所で（4回/年）実施しているが、時々下水の匂いがする時があるが、今回は感じなく安心した。

◆主な観測地点：新川 新川大橋

- ・ 庄内川と同様、曇り空だが、川の流れに心地よさを感じる。ヨシや水際には相当量のゴミがある。人が容易に近づけないため、満潮時に船からの回収が必要と思われる。
- ・ 庄内川と比べ透視度が 93.0 cmとよい。CODは 6 mg/l と通常値。
- ・ 新川右岸の小段には、夕方くる釣人によるゴミが散乱している。マナーの低下を感じる。
- ・ 夏場になるとよく見かける水草が流れている。
- ・ 調査は、継続することが大切で、その結果を多くの人に知っていただくことが大切と考えます。

◆参加者名、団体名：瑞穂鯉城クラブ

◆主な観測地点：山崎川（かなえ橋）

- ・ 上・中・下流を調査して川の水質を知る必要がある。

◆参加者名、団体名：阿漕浦友の会

◆主な観測地点：阿漕浦海岸

- ・ 最近は海が穏やかで、今の時期ではここ数年見られないほどでした。

◆参加者名、団体名：やなぎも会

◆主な観測地点：堀川 小塩橋

- ・ 堀川・小塩橋地点はこれまで3回目のモニタリングで、平成23、24年度に比べ5項目の水質の中で窒素およびリン系が低濃度化の変化が見られた。(以下の測定値は標準色上段の数値である。)COD(D)は8以上で差はないが、NH4は0.8mg/lで約1/4に、NO2は0.08 mg/lで1/2~1/6、NO3は2.0 mg/lが1/2に低濃度化、PO4は0.15 mg/lで約1/3にそれぞれ大きく低濃度のレベルを示した。採水時の名古屋港の潮汐は、23年度は09:28(干潮)、24年度は09:51(満潮)、本年25年は09:50(干潮)でそれぞれ採水時刻は10:00に採水した。窒素系は満潮時がピークを示したが、本年度は上記のとおりで潮汐による変化が予想される。表層水の測定であるが今後の調査が望まれる。
- ・ モニタリング地点は堀川・小塩橋地点で干潮上流域である。今回は干潮時間に遭遇して川の流れは(名古屋港に向かって)下流方向に歩く速さで流れ、一般のプラスチック系のゴミはなく、枯葉や藻の小片物が右岸側の川際に沿って多く見られた。水の色は濁り灰黄緑色を呈し、透視度は27cmと低い、また泡の発生がみられた。泡の浮上とその周囲にヘドロによる水の濁る一瞬がみられた。干潮時の水位の低下は水圧が下がり泡の発生が多くなるか、水位低下は下層のヘドロを巻き込む現象によるものか(色、濁り、透視度低下、藻の小片物)多くの観察がみられ潮汐現象と継続調査が望まれる。

◆参加者名、団体名：フェザー安全剃刀(株) 関工場

◆主な観測地点：詰田川 羽根橋下流

- ・ 本年度、当社は同市内ではありますが、工場を移転し4月より稼働体制となりました。今年で4度目の参加となりますが、隣接する河川も変わり新たな気持ちで今回のモニタリングに参加いたしました。
- ・ 当日は晴天で日差しも強く、この地方には高温注意情報が発表されていましたが、時折吹き抜ける強い風が心地よく、無事に調査を行うことができました。
- ・ 冒頭に申しあげたとおり、昨年と調査地点(河川)が変わりました。川幅3~4m、水深20cm程でフナなどの群れが頻繁に確認でき、偶然30cm位のナマズの姿が見られました。水は澄んでおり、調査前は測定値もおそらく同程度であろうと推察していましたが、全ての調査項目で昨年まで調査していた河川での数値を超えており、見た目では分からないものだと実感いたしました。
- ・ 今後も継続的にこのような調査を実施し、河川の状況把握から美化へ繋げていきたいと思っております。

<p>◆参加者名、団体名：桑名市立光陵中学校</p> <p>◆主な観測地点：町屋川</p> <p>◆主な観測地点：大山田川</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大山田川上流のF1 マート付近の水の色がとても汚かったが、下流に行くうちに水の色がすごくきれいになっていた。植物の力はすごいと思った。 ・ この日がとても暑く苦労はしましたが、皆で協力できたので、無事終えることができました。 <p>◆観測地点及び観測の様子</p>
<p>◆参加者名、団体名：高松干潟を守ろう会</p> <p>◆主な観測地点：高松海岸テトラポット近くの水際</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 連日猛暑で調査日・時間を変更することで、スムーズに調査できた。 ・ ボラの群れを見ることができた。 ・ 打ち上がったゴミの多くはペットボトル、生き物の死骸も見られた。
<p>◆参加者名、団体名：きれいな伊勢志摩づくり連絡会議</p> <p>◆主な観測地点：伊勢湾 浅利ヶ浜</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ チューブを入れた水の色が変化していく様子に子供たちは、すごい、こんなふうになるんだと驚いていました。 ・ 着色によって水のきれいさがわかることを説明すると、チューブ内の水の色と標準色と比べ、海の水がきれいなんだと実感していました。 ・ 子供たちは初めての体験だったようで、積極的に参加していました。
<p>◆参加者名、団体名：扇川を愛する緑の会</p> <p>◆主な観測地点：扇川 上汐田橋（満潮時）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミは普段より少なく感じた。 ・ 透視度が干潮時より良かったのは、海の水がきれいということでしょうか？ <p>◆主な観測地点：扇川 上汐田橋（干潮時）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミは普段より少なく感じた。 ・ 近隣の方から最近コイが増えすぎたとの話。同感!! <p>◆主な観測地点：大池</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水質は普段よりきれい。 ・ ヒシが数年前に行われた浚渫後、急に出現して、毎年池がヒシでいっぱいになるようになった。水質に良いのか悪いのか？
<p>◆参加者名、団体名：明治用水土地改良区</p> <p>◆主な観測地点：矢作川</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度と同じ地点で同様の調査を行った。数日前まで降雨により濁っていたが調査時は

きれいな水だった。

- ・ CODの数値が昨年より若干高かったが、調査キット説明書の望ましい数値（0～5 mg/l）に収まった。

◆参加者名、団体名：富士ゼロックスマニュファクチャリング（株）鈴鹿事業所 自然愛好会

◆主な観測地点：三滝川支流矢合川

◆主な観測地点：三滝川

- ・ 昨年より、川がきれいになっています。また、ゴミもなく、上流での整備が良くなって、マナーも良いのではと感じました。

◆主な観測地点：鈴鹿川

◆主な観測地点：金溪川

◆主な観測地点：鈴鹿川 平和橋

- ・ 一昨年、昨年と調査を行って、亀山大橋では草木が生い茂り、川まで近付くことができなかった。橋の上から水を汲みバケツを下したが、あと数メートル届かず、当地点での調査を諦め、今回の平和橋へ移動した。

◆主な観測地点：鈴鹿川 河口1 km地点

- ・ 昨年は、満潮時に採取を行いましたが、今回は干潮後の満ち潮時に行いました。前日に多量の雨が降ったため、通常の干潮時よりも水量は多めで、水が濁っており、若干ゴミが浮遊している状況。（昨年採取時は満潮後だが水は底が見える程度に澄んでいた。）
- ・ 満潮時には水没する干潟の部分では、多数のカニご生息していました。

◆主な観測地点：安楽川

◆主な観測地点：八島川

◆主な観測地点：御幣川 鈴峰橋下

◆主な観測地点：伊勢若松海岸（若松漁港）

◆参加者名、団体名：梅田川フォーラム

◆主な観測地点：梅田川

- ・ 生物調査と水質調査を同時に行いました。3ヶ所の定点観測点を毎年（6年間）行ってきましたが、特に水質測定項目に大きな変化はありませんでした。ただ、昨年ヒガタアシ（外来植物）を駆除しましたので、水側は深く浚渫して、希少生物はいなくなりました。しかしながら、ヒガタアシは駆除できていました。
- ・ 参加者は子供3人（小学生）を含む13名でしたが、メダカ、フナ、ドジョウすくいのイベントは好評価されました。
- ・ 在来のメダカはレッドリストの登録されたようですが、昨年より少なくない（個体数）様でした。

◆参加者名、団体名：十四川を守る会

◆主な観測地点：十四川 豊栄橋

<ul style="list-style-type: none"> ・ 十四川河口には水害対策用の水門があり、この水門前に「ヘドロ」が堆積する。ヘドロの多くは川に発生する「藻」が流れ込んで堆積するものであるが、藻が発生する要因は上流での家庭排水と思われる。 ・ 公共下水への早期接続のPR活動も必要であるが、地域住民一人一人が川を汚さないという意識を持つことが大切と思われる。
<p>◆参加者名、団体名：東洋建設（株）</p> <p>◆主な観測地点：天白川 新宝町岸壁</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 透視度が80 cm位であり、水質が悪いと感じたのだが、CODが6~8 mg/l の値なので見た目ほど汚染が進んでいるわけではなかった。今後も引き続きモニタリングに参加して、伊勢湾の再生に少し手も寄与していきたい。
<p>◆参加者名、団体名：スナメリの海</p> <p>◆主な観測地点：大井川 河口上流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大井川の富栄養化は改善されないが、河口が近く海からの小魚達に遡上は最近多く、時期によっては、ボラ、クサフグ、ハゼ、セイゴ、グレ等々増えています。 ・ 橋に下の深みでは、海水魚と淡水魚のフナ等が入り混じって泳いでいる時もあり、白サギ、ゴイサギ等の野鳥のエサ場になっています。 ・ 強い農薬が少なくなったのかな?大井（55年前）に比べれば、ハゼなどは少ない。 <p>◆主な観測地点：海田川</p> <p>◆主な観測地点：鷺ヶ埼</p> <p>◆主な観測地点：大井聖埼</p>
<p>◆参加者名、団体名：可児市めだかの楽校</p> <p>◆主な観測地点：可児川</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回は毎年7月に行っているカワゲラウォッチングを「モニタリング」と同じ8月3日に行い、70人近い参加者で取り組みました。親子が29人、可児高校の1年生が20人、そしてめだかの楽校、可児市職員らが参加。高校生には積極的に、水質調査や水生生物観察の活動を担ってもらいました。 ・ 「どうしたらもっと可児川をきれいにできるか」「泳げる川になるためには」・・・このような視点で高校生からの“提案”などが話し合えたらと願っています。今回はそのきっかけになったと思います。
<p>◆参加者名、団体名：亀山の自然環境を愛する会</p> <p>◆主な観測地点：鈴鹿川 定五郎橋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水質の違い 河口より26 km地点と11.2 km地点の水質はほとんど変わっていない。下水道の増加と河川の砂礫、岸辺の植物による浄化が影響しているのだろうか。この水質を守っていききたい。ただ、生き物の種類は豊富であるが26 km地点より数量は少ない。

<ul style="list-style-type: none"> • 生き物の数量を増やしたい。河川の断流（伏流水化）と治水のため鈴鹿亀山市内で砂礫を取り除く工事が始まったが、生き物（魚が代表するが）が育む構造も配慮していただきたい。60年以前の淀川中～下流の治水対策他での豊富な生き物で楽しんだ思い出のスケッチですが、この配慮がなされていると思います。現在技術でご配慮をお願いしたい。
<p>◆参加者名、団体名：内山川ホテルを守る会</p> <p>◆主な観測地点：内山川</p> <ul style="list-style-type: none"> • 魚やカワニナがいっぱいいた。見た目がきれいだけれど、水を調査したら少し汚れていることが分かったので、川を汚さないようにする。 <p>◆主な観測地点：内山川 上境坪橋上流</p> <ul style="list-style-type: none"> • きれいなところに棲むサワガニと少し汚れたところに棲むカワナイと一緒に棲んでいるかわなので、これ以上川が汚れにようにしたい。
<p>◆参加者名、団体名：祓川環境美化推進協議会</p> <p>◆主な観測地点：祓川（下流）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 祓川は、ややきれいな水だとわかりました。祓川にはいろいろな生き物がいることがわかりました。前日は雨が降っていたので、水の量が多かったです。
<p>◆参加者名、団体名：安田氏（個人）</p> <p>◆主な観測地点：勝原谷</p> <ul style="list-style-type: none"> • 実家のある地区の谷を調べました。サワガニがいる川ですので、やっぱり数値も低く、このきれいな水質を守って行ってほしいと思いました。子供にも良い経験となりました。 <p>◆主な観測地点：山田川</p> <ul style="list-style-type: none"> • 個人の参加で、しかも締め切りを過ぎての応募でしたが、検査に参加させていただきありがとうございました。子供の夏休みの自由研究の参考にもなり、よい経験ができました。 • 身近な川の山田川については、きれいな川とは言い難い水質で、見た目もきれいとは言えなかったため、数値として表すことができ、今後、山田川をきれいな川にしたいという気持ちができました。小学校の行事として、カワニナの放流をしています。まず、川をきれいにするのに力を入れていけるといいと思います。いつかホテルが戻ってくるくらいの川になることを望みます。
<p>◆参加者名、団体名：多気町立勢和中学校</p> <p>◆主な観測地点：櫛田川</p> <ul style="list-style-type: none"> • 櫛田川はきれいで、自然が豊かな川だとあらためて感じました。

◆参加者名、団体名：緑の会羽津

◆主な観測地点：米洗川①（四日市市別名 6 丁目）

- ・ 生物の数が思ったより少なかった。
- ・ カルガモの親子 7 羽と小魚が群れで泳いでいた。
- ・ ゴミやペットボトル等が川に捨てられている所があった。
- ・ 生物が住めるようなきれいな川にするためには、ゴミなどは持ち帰るようにしてほしい。

◆主な観測地点：米洗川②（四日市市別名 6 丁目）

- ・ この地点では生物の数は少ない。水が少々汚い。
- ・ ミシシッピーアカミミガメとアメンボウがいた。

◆主な観測地点：米洗川③（四日市市別名 6 丁目）

- ・ 生物はいなかった。水は濁っていた。
- ・ トンボ数匹飛んでいた。

◆主な観測地点：羽津用水 参考地点（四日市市いかるが町）

- ・ 水は冷たくきれい。（朝明川からの農業用水のため）
- ・ 全くいない。
- ・ 水位計を初めて見た。
- ・ 場所によって、きれいな所と汚いところがある。
- ・ カモ、小魚、亀等が生息している。